



経営学部

SCHOOL OF BUSINESS ADMINISTRATION

「個」を強くする大学。

MEIJI
UNIVERSITY
2026

“Self-awareness” makes the world go round.



経営学部長
中西 晶 (なかにし あき)

1983年京都大学文学部哲学科卒業。産業能率大学在職中に2000年東京工業大学社会理工学研究科博士後期課程修了。博士。東京都立科学技術大学工学部・工学研究科助教授、明治大学経営学部専任准教授を経て2007年より専任教授。研究テーマは高信頼性組織。著書に『高信頼性組織の条件』(単著)、『マネジメント基礎力』(共著)など。

学部長メッセージ

多様な価値観を持つ他者と協働による課題解決とイノベーション

明治大学経営学部は、1953年に日本の私立大学で最初の経営学部として発足し、時代とともに進化を続け、2023年に70周年を迎えました。創設者の佐々木吉郎は、「教育は今日に役立つ人間をつくるのではない。明日に役立つ人間をつくるのだ」と述べています。つまり、本学部の教育は「未来を創る人材の育成」にあると言い換えてもよいでしょう。

現在、経営学部は「経営学科」「会計学科」「公共経営学科」の3学科制をとり、「グローバル経営人材」と「価値創造人材」の育成を目標としています。「グローバル経営人材育成トラック(GREAT)」、「高度職業会計人養成トラック(CAP)」、そして2024年度よりスタートした「デジタル経営人材開発トラック(DIGIT)」という学科横断的なトラックも設けています。

経営学部では、営利、非営利問わず、組織の経営に

必要な幅広い分野の知識を学びます。さらに、国内外でのフィールドスタディや実務家を招いたPBL(Project Based Learning)など、実際の社会の現場を経験する機会も提供します。これらは、将来、社会に出てキャリアを形成していくための基盤となるでしょう。

明治大学経営学部生には、こうした学びの機会を積極的に活用し、多面的な視点から新しいアイデアを生み出し、多様な価値観を持つ他者と協働して課題を解決し、イノベーションする能力を獲得することを期待します。

明治大学経営学部は、その歴史と伝統の中で、常に新しい時代に対応した教育を提供し続けてきました。そしてこれからも、皆さんとともに未来を創る主体として挑戦していきたいと考えています。

動画と記事で学部を知る
「Step into Meiji University」も
ぜひご覧ください



CONTENTS

学部長メッセージ	01
経営学部概要	03
カリキュラムの特長	05
グローバル経営人材の育成	
グローバル経営人材トラック(GREAT)	07
IBP	09
ISIBM	10
デュアルディグリー・プログラム	11

経営学部独自の学部間協定校	12
価値創造人材の育成	
高度職業会計人養成トラック(CAP)	13
デジタル経営人材開発トラック(DIGIT)	14
フィールドスタディ	15
グローバル・サービ斯拉ーニング	17
経営総合講義 / 特別講義	18
経営学部のゼミナール教育	19

外国語科目	20
教養科目	21
基礎専門科目	22
学科紹介	
■経営学科	23
■会計学科	25
■公共経営学科	27
教員紹介	29

卒業後の進路	
早期卒業制度 / 大学院経営学研究科・専門職大学院	32
就職・キャリア形成支援	33
就職実績	34
卒業生からのメッセージ	35
懸賞論文制度	35
奨学金制度	36
入試情報	37

※登場する学生の在籍年次や卒業生の肩書等は2024年度のもので、
2024年以前撮影の写真も掲載しています。

一人ひとりの問題意識や興味を引き出す、様々なプログラム

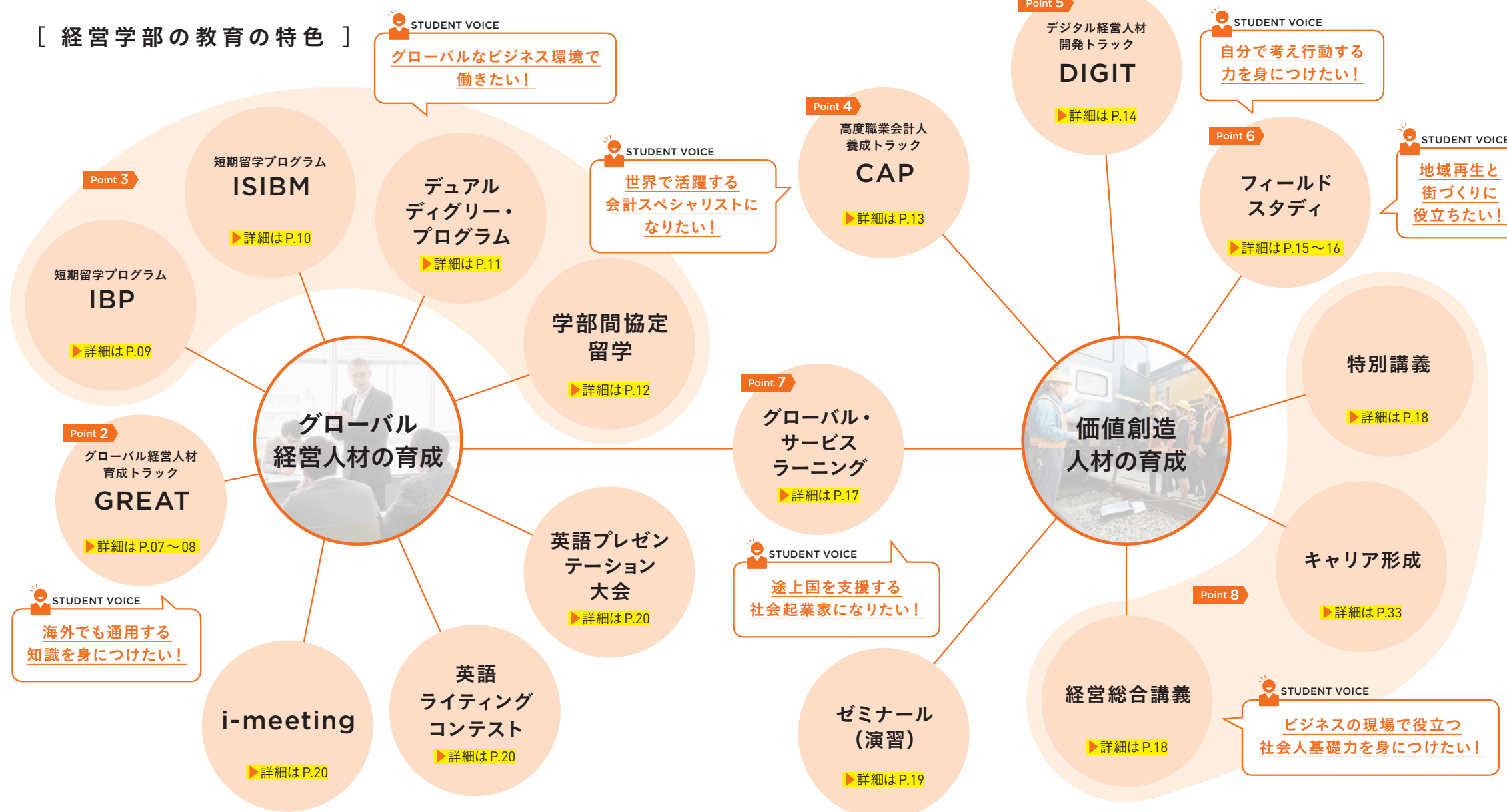
1953年、明治大学経営学部は私立大学最初の経営学部として設立されました。それ以来、常に時代を牽引するビジネスリーダーを送り出してきました。2002年には経営学科、会計学科、公共経営学科の3学科制に変更し、学部教育の専門性を高めています。

Point 1 2015年からは学科所属を2年次からに変更することで、学科内容を理解したうえで所属を決定できるようにしました。学科間の垣根は低くしていますので、所属学科以外の演習(ゼミナール)や専門科目も履修することができ、多様なニーズに対応できるようにしています。

明治大学は文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)」に日本社会のグローバル化を牽引する大学として採択

されたことを契機に、徹底した国際化を進めています。この大学の強力な国際化に応じて、経営学部は「グローバルレベルでビジネスを創造・推進する経営人材の育成」を教育目標とし、「グローバル経営人材」と「価値創造人材」の育成のためにカリキュラムを設定しています。GREATや英語による授業科目、学部独自の留学制度など、将来、海外で活躍しようと考えている人にぴったりのプログラムです。また、「個」を強くするという大学の理念に基づいて、体験型授業やPBL(Project Based Learning)、アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れています。これらの多くは答えの無い問題に挑む授業です。予測が難しい現代社会において、マネジメントの方向性を決め、新しいビジネスを推進する力を養います。

[経営学部の教育の特色]



明治大学経営学部の強み

● ビジネスリーダーを目指す
● あなたの「想い」に応える学部

Point 1 学ぶ目的を明確にする 2年次からの3学科制度

1年次では、年々、複雑化・細分化する経営学の全体像を把握し、基礎をしっかりと学び、2年次からは経営学科、会計学科、公共経営学科の3つの学科に分かれて、専門領域に打ち込んでいける制度です。▶詳細はP.23~28

Point 2 英語スキルと専門知識の融合を目指す グローバル経営人材育成トラック GREAT

英語スキルと専門知識をミックスさせたカリキュラムで、世界で通用する英語能力と専門知識を同時に養い、「グローバル経営人材」を育成します。▶詳細はP.07~08

Point 3 グローバル社会の扉を開く 経営学部独自の短期・長期留学プログラム

短期留学プログラムのIBPやISIBM、14大学15学部との学部間協定留学からヴィクトリア大学(カナダ)とのデュアルディグリー・プログラムまで、多様な留学プログラムを用意しています。▶詳細はP.09~12

Point 4 公認会計士や税理士などを目指す 高度職業会計人養成トラック CAP

1年次から体系的に会計の専門知識とスキルを学びます。またCAPに参加し、修了要件を満たした学生には修了証書が授与されます。▶詳細はP.13

Point 5 DX時代に即した教育プログラム デジタル経営人材開発トラック DIGIT

データサイエンス・数理統計・AI等のデジタル技術を利用・活用してビジネスデータ・ソーシャルデータの分析からインサイトを探索し、新たな社会の在り方やプロセス改革・新製品サービス開発・事業創造等のイノベーションを創造できる「デジタル経営人材」を育成します。▶詳細はP.14

Point 6 教室外での体験型実践教育 フィールドスタディ

社会の現場に飛び出し、自分の専門テーマに沿った、自発的な調査、研究、問題解決を行うフィールドスタディを重視しています。国内だけでなく、海外へも調査に行き、プレゼンテーション能力の向上も同時に図れます。▶詳細はP.15~16

Point 7 海外で社会貢献活動を体験 グローバル・サービスラーニング

単なるボランティア実習ではなく、「貧困」などの国際的な社会課題について考え、解決するための知識の修得と活動を体験します。▶詳細はP.17

Point 8 企業の現場を意識する 1年次からのキャリア教育

経営総合講義、低学年向けキャリアガイダンスを通じて、1年次から段階的に社会人基礎力を育成しています。▶詳細はP.18、33~34

経営学部の4年間で学べること

経営学部では、1年次は経営の基礎を幅広く学び、2年次から、経営学科、会計学科、公共経営学科の3つに分かれて学びます。

経営学科では主として営利企業のマネジメントを、会計学科では会社の利害関係者に役立つ会計情報について、そして公共経営学科では行政組織や非営利組織のマネジメントやスポーツマネジメントについて学びます。1年次で学んだことを加味して学科選択することで、自分がかもっとも興味を持った専門領域を基礎から徹底的に学ぶことができます。それぞれの学科は、専門領域についての魅力あるカリキュラムを提供しています。

4年間の学びの流れ



※ GREAT は TOEIC® や英語 4 技能資格・検定試験のスコアを参考に選出された約 100 名が対象になります。
※ CAP は、ビジネスに必須となる会計の知識とスキルを身につけたいという学生であれば、簿記検定資格の有無にかかわらず誰でも参加できます。
※ DIGIT は、デジタルイノベーションのための「データ分析力」を身につけたい学生であれば、誰でも参加できます(事前に DIGIT 登録必須：ただし、定員を超える場合は、履修者選抜を行います)。

経営学部の学びのポイント

- 特長 1 2年次からの学科所属**
経営学部の入学試験は学科ごとではなく学部一括で行われ、2年次から学科に所属します。入学前に大学で学ぶ専門領域を決めるのではなく、入学後に各学科で学ぶ内容をよく理解したうえで、自分の適性や興味、将来の方向性に基づき、学科を選択することができます。
- 特長 2 3つの人材育成トラック**
経営学部では、4年間の特別カリキュラムを用意しています。グローバル経営人材育成トラック (GREAT) は、海外留学や国際ビジネス分野での活躍を目指す学生のため、高度職業会計人養成トラック (CAP) は、公認会計士、税理士、国税専門官などの資格試験合格を目指す学生のため、デジタル経営人材開発トラック (DIGIT) はデータサイエンス・数理統計・AI等のデジタル技術を利用・活用してイノベーションを創造するためのトラックです。
- 特長 3 少人数制の演習科目**
演習科目は10～20名程度の少人数で1つのテーマをじっくりと学んでいく授業です。経営学部には、1年次から履修可能な「教養演習」、「外国語教養演習」、「基礎専門演習」と、2・3・4年次の「演習」があり、経営学に限らず幅広いテーマで開講されています。
- 特長 4 体験型の実習関連科目**
実習関連科目は大学の内外で展開される体験型の授業です。経営学部には、大学の外で調査・実習を行う「フィールドスタディ」や、海外での社会奉仕活動に参加する「グローバル・サービスラーニング」、短期留学プログラムの「IBP (International Business Program)」などがあります。

カリキュラム体系図

学びを知り、方向性を定める ▶ 興味を広げ、学びの目標を定める ▶ 学びの理論と実践を深める ▶ 学びの集大成を確立する							
1年次		2年次		3年次		4年次	
学部必修科目 [経営学に必要な基礎を学ぶ]		経営総論 経営学 会計学 公共経営学 近代経済学					
学科専門科目 [各学科の専門を学ぶ]		経営学科：経営戦略論、経営組織論 など 会計学科：管理会計総論、財務会計総論 など 公共経営学科：行政経営論、公共マーケティング論 など					
演習科目（ゼミナール） [少人数で専門分野を学ぶ]		教養演習（1・2年次） 外国語教養演習（J/E）（1・2年次） 基礎専門演習（J/E）		演習I	演習II	演習III	
教養科目 [幅広い教養を身につける]		言語思想 自然科学思想史 社会思想（J/E） 自然人類学 倫理思想 文化人類学 宗教思想（J/E） 生理学 数学 健康科学 統計学 スポーツ・レジャー・レクリエーション論 生物学 現代社会とスポーツ 物理学 トレーニングの科学 化学 レポート・論文作成法	言語表現論 社会学 外国文学（英米・独・仏・中） 心理学 日本事情 日本語論 経営総合講義（1年次） 日本文学 西洋史（総論） 西洋史（各論） 法学 地理学 政治学	哲学基礎論 哲学 日本文学（現代）			
		手話コミュニケーション（初級・中級） Global Issues（E）					
基礎専門科目 [経営関連分野の基礎を学ぶ]		簿記論 経営基礎数学 経済原論 経営心理学（2年次） 経済史 マーケティング基礎論（2年次） 経営史	情報化社会論 ビジネス法	ビジネス・エコノミクス 経営統計学 経営社会学 産業生理学 経営と環境 経済地理学 企業の社会的責任論（J/E） 戦略経営情報システム論	会社法 手形法・小切手法 財産法 税法 労働法 文化論（英・独・仏・中・東南アジア・東欧） 経営文献研究	ビジネス英語（J/E） Business Presentation（E） ネット・ビジネス論（J/E） コンテンツ・ ビジネス論（J/E） アメリカ文化論（J/E）	
		Fundamentals of Management（E） Transcultural Business Communication（E） Strategic Business Communication（E）					
		Japanese Economy（E） 日本経済史 社会調査法 海外経営事情 基礎専門特別講義					
外国語科目（必修）		英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・韓国語・日本語 [2か国語以上を学ぶ]					
外国語科目（選択）		TOEFL® Reading/Listening/Speaking/Writing（E） TOEFL® Preparation（E） English Exams（E）		Speech and Debate（E） Genres of Writing（E） 英語スペシャルスタディ 英語表現論		英語・ドイツ語・フランス語・中国語 コミュニケーション（初級・中級・上級） IBP：International Business Program （語学研修）（E）	
体育実技科目		体育実技		選択体育実技 学外選択体育実技			
実習関連科目		IBP：International Business Program（E）[短期留学によって学ぶ] フィールドスタディ[教室外の調査実習によって学ぶ]		グローバル・サービスラーニング[海外での社会奉仕活動によって学ぶ]			
		DIGIT入門演習 DIGIT実践演習 リサーチ・リテラシー [データの分析方法を学ぶ]					
ICTリテラシー科目		ICTベーシック ICT統計解析 ICTデータベース ICTプログラミング ICTプレゼンテーション					

注) (E) は「英語で実施する授業科目」を示します。
(J/E) は年度により「日本語または英語で実施する授業科目」を示します。

Q&A

- Q** 経営学は商学とどのように違うのですか？

Answer 商学は、総合市場科学とも呼ばれ、商品流通や商行為など市場にかかわる事柄を対象としています。これに対して経営学は、組織や事業などの経営にかかわる事柄を対象としています。すなわち、経営学は、私企業・公企業・政府・地方自治体・非営利団体など様々な組織体とその事業にかかわる構想・計画・実行・管理・運営などといった活動を対象として、それらに関する経営を取り扱います。
- Q** 2年次以降、自分が所属する学科以外の科目を学ぶことはできますか？

Answer 可能です。2年次から所属する学科によって履修しなければならない学科専門科目は異なりますが、他学科の専門科目も履修して学ぶことができます。また、学科の枠を越えて学べる科目も多く、各教員が担当している演習 (ゼミナール) も所属学科に関係なく選択できます。専門性を身につけながら幅広く学べる仕組みです。
- Q** 他大学の経営学部と比べて、明治大学経営学部の特長は何ですか？

Answer 総勢60名を超える専任教員が幅広いラインアップで授業を展開し、特色ある経営学科・会計学科・公共経営学科の分野をバランス良く学ぶことができます。講義のほか、学生が主体的に学ぶ機会を多く提供しており、少人数の演習科目や体験型の実習科目が多いのも特長です。英語による授業科目も多く、グローバルに通用する知識を身につけることができます。

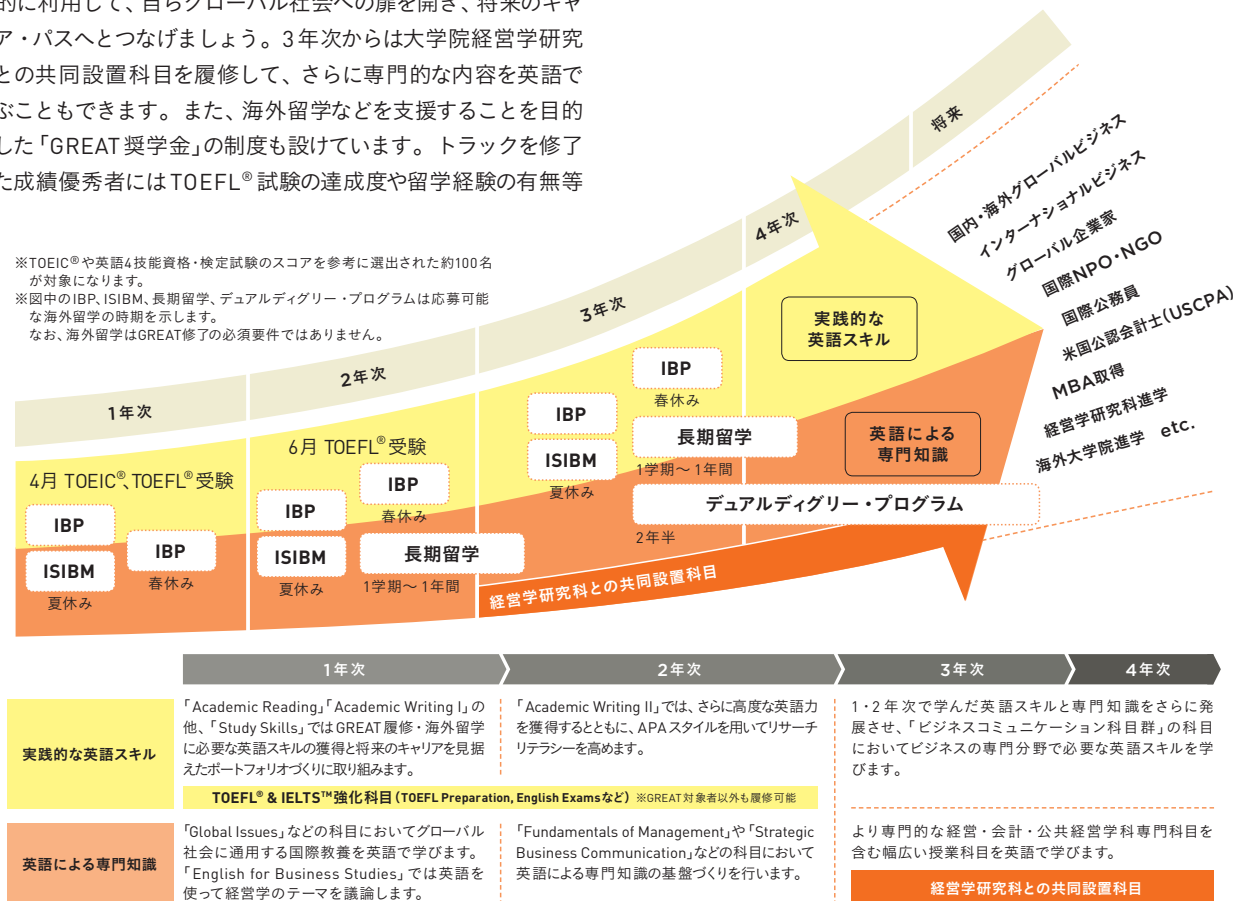
グローバル社会への扉を開く「GREAT」※

※ Global Resources English Applied Track

グローバル経営人材育成トラック「GREAT」は、将来、海外留学や国際ビジネスでの活躍を目指す学生のための4年間のカリキュラムです。特別編成の少人数クラスで実践的な英語スキルを身につけながら、英語による授業科目で教養と専門知識を学びます。経営学部独自の海外短期留学プログラム・長期留学も積極的に利用して、自らグローバル社会への扉を開き、将来のキャリア・パスへとつなげましょう。3年次からは大学院経営学研究科との共同設置科目を履修して、さらに専門的な内容を英語で学ぶこともできます。また、海外留学などを支援することを目的とした「GREAT奨学金」の制度も設けています。トラックを修了した成績優秀者にはTOEFL®試験の達成度や留学経験の有無等

に応じて修了証書が授与されます。

TOEIC®や英語4技能資格・検定試験のスコア上位者が対象となりますが、1年次春学期でGREATの対象にならなかった学生でも、所定の要件を満たせば1年次秋学期、2年次春学期からGREATに任意で参加することができます。



■GREATの特色

英語スキルと専門知識を同時に取り入れるGREATでは、学問におけるグローバル・スタンダードを意識した学習活動を入学時から行います。英語で講義を受けるために必要なリスニングのスキル、重要な点をすばやく書き留めるノート・テイキングのスキル、英語の文献を読むためのリーディングのスキル、アカデミックライティングの基礎、英語の文献を用いたリサーチに必要なアカデミックスキル、ディスカッションやプレゼンテーションに必要な英語による論理的思考力・表現力など、まずはキャンパス内の英語による授業科目受講により海外留学時に必要なスキルを身につけます。TOEFL®やIELTS™などの国際的な英語検定試験における高得点獲得にも力を入れ、3年次秋からの留学を想定

して入学後の4月と、2年次の6月にTOEFL®団体受験を行います。また、「i-meeting」に代表される異文化交流のイベントで異文化理解を深め、「英語プレゼンテーション大会」や「英語ライティングコンテスト」では英語で自分の考えを発信する能力を向上させます。経営学部では、独自の短期留学プログラム「IBP」や夏期インターナショナルビジネスマネジメントプログラム「ISIBM」「学部間協定留学プログラム」「デュアルディグリー・プログラム」などの国際プログラムを用意し、GREATで培ったグローバル・スタンダードの基盤をもとに、自らグローバル社会への扉を開く学生を力強くサポートします。



Strategic Business Communication

GREATで履修する選択科目「Strategic Business Communication」を紹介します。

「Strategic Business Communication」では、英語を使ってビジネス・コミュニケーションの理論と実践を学びます。マネジャーやリーダーが人とともに仕事をやり遂げるためには、効果的なコミュニケーションが必要です。この科目では、「信頼」を軸にしてビジネ

ス・コミュニケーションにアプローチします。英語による講義と議論を通して、英語技能と経営学の専門知識を統合し、英語で開講される基礎専門科目・経営学科専門科目や、留学先での学部科目履修への橋渡しをします。

MESSAGE **金子 敦子 教授**

GREAT (Global Resources English Applied Track) には、海外留学やグローバルビジネスでの活躍を目指す学生が集い、少人数の参加型授業でプレゼンテーションや議論を通して高度な英語コミュニケーション能力を身につけます。英語による授業で日本のみならずアジアや欧米など世界各国の学生とともに経営学を学ぶことで、有為なグローバル経営人材に成長してほしいと願っています。

PROFILE

コンサルタント(アクセンチュア)、株式調査部アナリスト(UBS証券会社)等を経て、2018年より現職。専門領域: マネジメント・コミュニケーション。MBA(University of London)、文学士(東京大学)。

[2024年度 経営学部「英語による授業科目」一覧] (春・秋学期で74科目114コマ)

春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
Global Issues A	Global Issues B	Transcultural Business Communication A			Introduction to Public Management
Global Issues C	Global Issues D	Strategic Business Communication A	Strategic Business Communication B		International Development
Liberal Arts Seminar in Foreign Languages A	Liberal Arts Seminar in Foreign Languages B	Corporate Social Responsibility	Japanese Economy	Tourism Management A	Tourism Management B
Liberal Arts Seminar in Foreign Languages C	Liberal Arts Seminar in Foreign Languages D	Internet Business A	Internet Business B	Strategic Management A (M)	Strategic Management B (M)
Social Thought		Contents Business A	Contents Business B	E Commerce A (M)	E Commerce B (M)
TOEFL Reading	TOEFL Speaking		Core Subjects Special Lectures B	Organizational Behavior A (M)	Organizational Behavior B (M)
TOEFL Listening	TOEFL Writing	Core Subjects Seminar C	Core Subjects Seminar D	Information Science A (M)	Information Science B (M)
TOEFL Preparation A	TOEFL Preparation B	Innovation Strategy in Japan A	Innovation Strategy in Japan B	Transnational Management A	Transnational Management B
English Exams A	English Exams B	Strategic Marketing A	Strategic Marketing B	Information Ethics A (M)	Information Ethics B (M)
Genres of Writing	Speech and Debate	International Management A	International Management B	International Marketing A (M)	International Marketing B (M)
International Business Program A	International Business Program B	Transcultural Management A	Transcultural Management B	Service Marketing A (M)	Service Marketing B (M)
Business English A	Business English B	Special Lectures on Business Management C	Special Lectures on Business Management D	Advanced Financial Accounting A (M)	Advanced Financial Accounting B (M)
Business Presentation A	Business Presentation B	Basic Accounting A	Basic Accounting B	Financial Statement Analysis A (M)	Financial Statement Analysis B (M)
Fundamentals of Management A	Fundamentals of Management B	Financial Accounting A	Financial Accounting B	Family Business B (M)	Human Resource Management A (M)
Fundamentals of Management C	Fundamentals of Management D	Management Accounting A (M)	Management Accounting B (M)	Corporate Finance A (M)	Corporate Finance B (M)

STUDENT VOICE

会計学科3年
手塚 里子
 福岡県立
 修猷館高等学校卒業

留学先:
 カリフォルニア大学
 パークレー校



「英語で学ぶ」GREATの授業で海外で活躍するための土台を築く

幼い頃から海外に憧れがあり、世界を舞台に活躍したいと考えていました。いざ大学受験が始まると、具体的に何をしたいのかが分からない。その時に会計に出会います。英語のネイティブスピーカーでない私が、グローバル市場で活躍するためには「会計×英語」の両立が必要だと考えました。経営学部では会計の専門知識はもちろん、語学やビジネス知識といったビジネスパーソンとして必要な素養

を網羅的に学習できます。GREATの授業では、英語における「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能をバランスよく鍛えられました。「英語を使って学ぶ」環境なので、生きた英語を修得することが可能。将来は、GREATで身につけたビジネス英語を武器に、アメリカで会計士として働きたいと思っています。そして日本と世界の架け橋となるような人材を目指します。

経営学部独自の「留学制度」

「IBP※」でビジネス英語を学ぶ

※ International Business Program

経営学部では、学生の海外留学を促進するため、学部間協定留学プログラムにおける正規留学をはじめ、学生のニーズに対応した多様な留学プログラムを用意しています。TOEIC®400点以上の学生を対象にした「IBP」は、人気の短期留学プログラムです。

英語で積極的にコミュニケーションする習慣を身につける

IBP (International Business Program) は、海外短期留学を行う科目 (合計3単位) です。年2回、IBP A (春学期開講) は夏休み期間中、IBP B (秋学期開講) は春休み期間中に3~4週間、アメリカまたはオーストラリアの大学で実施されるプログラムが中心ですが、渡航前に事前学習を行い、帰国後の「振り返り学習」では、学んだこと、感じたこと、考えたことをまとめて報告

し、後に続く学びの発展へとつなげます。現地ではホームステイをしながら、授業内外で英語を常に使用することにより、英語で積極的にコミュニケーションする習慣を身につけます。また、ビジネス英語や英語スキル、プレゼンテーション能力の向上に特化した授業や現地企業訪問が組み込まれており、「英語で経営学を学べる」短期留学プログラムとなっています。



初めての海外留学は、学生にとって大きな冒険。事前学習では「安心して冒険ができる英語力」を身につけます。

STUDENT VOICE

経営学科2年
篠原 陵太郎
大阪府
私立清風南海高等学校
卒業

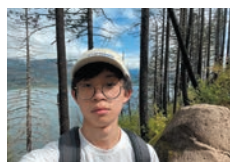
留学先:
ポートランド州立大学



IBP を英語学習の足掛かりとし 目標に向かって努力を重ねる

将来の進路について具体的な展望はありませんでしたが、留学への興味がありませんでした。また、海外生活を経験しておくことが将来の進路選択に役立つとも考えていたので、その足掛かりとしてIBPの受講を選択。留学先では英語を話さないと何もできません。たとえ単語や文法に自信がなくても、コミュニケーションのために英語を使う必要があります。1カ月という短い期間ですが、IBP

を通して英語を話すことへの抵抗がなくなりました。技術アップも大事ですが、英語に親しむという精神的な面を改善してくれたことが大きいです。現在は海外のネイティブスピーカーと話し、英語力を鍛えています。積極的に英語で話す姿勢が学習効率アップにつながっていると感じます。更に英語力を鍛えて、海外の大学院に進学したいです。



ビジネスマネジメントプログラム「ISIBM※」

※ International Summer Institute for Business Management

経営学部では、入門的な短期留学プログラムの「IBP」と、高度な英語力を要する「学部間協定留学プログラム」を中心に国際化推進を行ってきましたが、より優れたグローバル経営人材となることを目指す学生の様々なニーズに応えるため、2014年度から短期間海外でビジネス専門知識を学ぶ「ISIBM」を課外の海外研修プログラムとして設置しました。

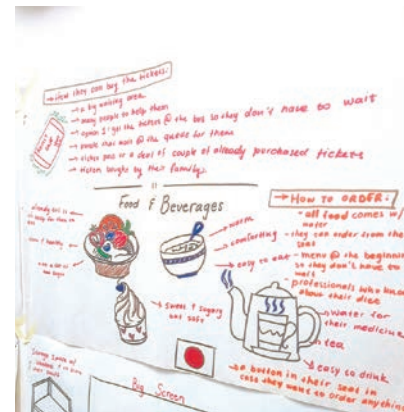
ISIBM (International Summer Institute for Business Management) は、学部協定校のカナダ・ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部が夏休み期間中実施する3週間のビジネスマネジメントプログラムです。短期間でビジネスコミュニケーション、起業からグローバルビジネスに至るまでのプロセス、海外のビジネス事情、グローバル経営の実態などについて、ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部の名高い教授陣から直接学ぶことができるのが大きな特長です。

参加学生は個人で、あるいはそれぞれのチームで行ったりサーチャをベースに絞りだしたビジネスアイデアをもとにビジネスプランを策定し、授業時間外でのグループスタディを毎週行

いながら、より現実的なプロジェクトを立案します。こういったチーム作業の中でリーダーシップを学び、チームとして作業内容をまとめ、全体で持ち寄ってプレゼンテーションをしながら、考えや意見を共有・集約するプロセスを修得します。

また、ISIBMでは世界各地域から訪れた学生とともに学生寮に滞在するため、様々な授業やアクティビティを通じて異文化交流ができるのも魅力のひとつです。

このプログラムは経営の理論について関心の高い学生には長期留学や大学院進学への動機付けとなり、一方、実際のビジネス展開に興味のある学生にはグローバル社会で活躍できるキャリア・パスに向かう動機付けとなるでしょう。



STUDENT VOICE

経営学科2年
菱田 梨乃
三重県
私立暁高等学校卒業

留学先:
ヴィクトリア大学



英語力と経営学の知識を修得 将来像が具体性を帯びてきた

経営者である母に憧れ、私も同じ道を進みたいと思い経営学科で学んでいます。合わせて留学に興味があり、「グローバル経営人材育成プログラム」の授業で知ったISIBMに参加。ここで自分の思いを効果的に伝える力が身についたと思います。グループで協力してプレゼンを行う場面が多く、様々な考えを持つ仲間と英語で議論し、練習を重ねました。ディスカッションを通じて英語力の向

上だけでなく、「良いリーダー像」「良いサービス」について学ぶこともできた有意義なプログラムでした。これまで見過ごしていた日常生活の何気ない事象も、経営学に紐づけて考えられるようになり、学びへの興味が尽きません。起業にあたっては事業プランや組織経営を考える時が来ます。その時にISIBMでの学びを活かしたいです。



デュアルディグリー・プログラム

経営学部では、カナダのヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部と学生交流協定を結び、2009年度から交換留学生の派遣・受け入れを行ってきましたが、学生の相互交流をさらに促進するため、計5年間で両大学の学位を取得できるデュアルディグリー・プログラム実施に関する覚書を2015年度に締結しました。

デュアルディグリー・プログラムは、明治大学経営学部での2年半、ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部での2年半、計5年間で日本の経営学士とカナダの商学士の両方取得できるプログラムです。学部間協定留学(1学期または1年間)よりも長い期間にわたって海外の大学で学ぶことができ、ヴィクトリア大学では

約1年間の実務経験を積むことができる有償インターンシップにも参加します。また、4年次以降には、ヴィクトリア大学の協定校に交換留学する機会も与えられます。このプログラムは2017年度からヴィクトリア大学への学生派遣を開始し、2024年度までに計7名の学生を派遣しています。



[入学からデュアルディグリー取得までの流れ]

1年次～3年次春学期

日本で学びながら、ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部への入学に必要な所定の単位を修得します。この間に明治大学経営学部で修得した単位は、ヴィクトリア大学においても認定されます。

3年次秋学期～5年次

ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部の3年次に入学し、カナダで学びます。4年次以降には、ヴィクトリア大学の協定校に交換留学をすることも可能です。

デュアルディグリー取得

ヴィクトリア大学の卒業要件を満たすと、カナダの商学士の学位が授与されます。修得した単位は、明治大学経営学部においても認定され、明治大学経営学部の卒業要件を満たすと、経営学士の学位が授与されます。

STUDENT VOICE

経営学科4年
キム キョンワン
Gyeonggi
Global Trade High School
卒業



留学先：
ヴィクトリア大学

英語で経営学を深く学び 現場で生きる力を在学中に身につける



将来の夢は世界で活躍する人材になることです。そのためには世界の共通言語の英語を学ぶこと、ビジネスの様々な場面で役立つような経営学を学ぶことが大切だと思い、デュアルディグリー・プログラムに参加しました。英語で経営学全般を深く学ぶプログラムなので、慣れないうちは大変でしたが、結果的に英語力が飛躍的にアップ。現地で会計事務所のインターンシップに参加した際に

は、大学で学んだ内容を活かして仕事をこなすことができるまでに成長していました。卒業後は、USCPA(米国公認会計士)とCFP(認定ファイナンシャルプランナー)を取得してアメリカで活躍したいです。経験を積む中でCFA(米国証券アナリスト)の資格を取得し、ゆくゆくは総合的な投資コンサルタントになりたいです。

経営学部独自の学部間協定校

2025年4月現在

経営学部には、学部独自の海外協定校が14大学15学部あります。「グローバル経営人材の育成」という教育目標の下、海外の経営学系学部との学生交流協定の締結を積極的に進め、学部の国際化を推進しています。

〈学部間協定留学の特長〉

1. 経営学部生のみを対象に募集・選考を行う為、学部生により多く留学の機会を提供できます。
2. 派遣先大学で修得した単位は、帰国後、経営学部の単位として認定することができます。
3. 非英語圏の大学であっても英語による授業を履修し、同時に現地語を修得することができます。
4. 留学中の演習科目は指導教員と相談の上、帰国後に認定可能なため、安心してゼミを履修することができます。
5. 留学先の授業料は免除されます(学費は本学へのみ納入します)。



[経営学部学部間協定留学情報]

留学に役立つ情報を掲載しております。
<https://www.meiji.ac.jp/keiei/features/exchange/index.html>



国・地域名	協定校名 (14大学15学部)
カナダ	●ヴィクトリア大学 [グスタフソン・ビジネス学部]
アメリカ	●ノースカロライナ大学シャーロット校 [ヘルツカレッジ・オブ・ビジネス]
イギリス	●カーディフ大学 [カーディフビジネススクール]
フランス	●Excelia ●IPAG ビジネススクール ●NEOMA 経営大学院 (NEOMA ビジネススクール)
ドイツ	●オスナブリュック応用科学大学 [経営管理・社会科学部]
スペイン	●IE 大学
フィンランド	●東フィンランド大学 [社会科学・ビジネス学部]
オランダ	●ロッテルダム応用科学大学 [ロッテルダムビジネススクール]
タイ	●シーナカリンウィロート大学 [経済学部 / サステイナビリティ研究国際学部]
中国	●対外経済貿易大学 [国際商学院]
香港	●香港城市大学 [商学院]
韓国	●ソウル国立大学 [経営学部]

STUDENT VOICE

経営学科4年
政氏 耀一郎
東京都
私立明治大学付属中野高等学校
卒業



留学先：
ロッテルダム応用科学大学

異なる文化を持つ学生たちとの 共同作業を通じて成長する



1年次の授業で留学経験者のプレゼンテーションを聞く機会があり、英語力を高めたいという思いが強くなりました。GREAT参加や2年次の冬季休暇に短期留学を経験後、より自律的に英語のコミュニケーションを取りたいと思うようになり、ロッテルダム応用科学大学に留学。5カ月間のグループワークで食品の通信販売を行う企業の販路拡大を目標に施策の策定を行いました。その中で異なる個性

や文化を受け入れることの大切さを実感。仲間の得意分野を理解しながら計画的に調査、施策の決定を進めていく中で、相手の気持ちや考え方に合わせて意思疎通を図ることが重要だと気づきました。留学先で得られた寛容さは、私が所属している体同連和道流空手道部でも活かしています。目標に向けて努力を重ねる中で、各々の選手が個性を発揮し成長できる環境づくりに欠かせないマインドです。

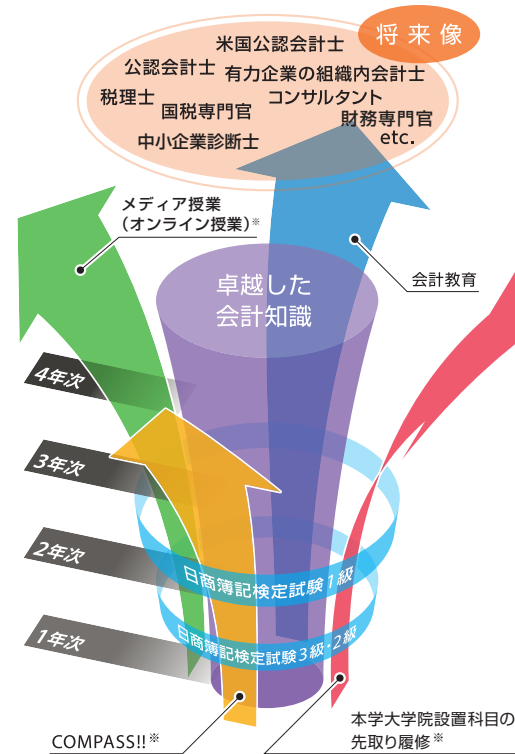
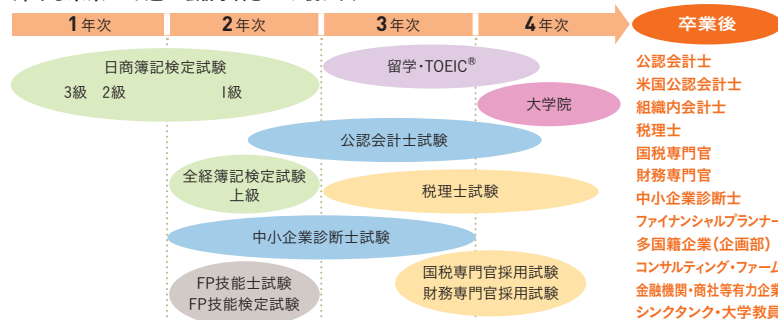
闘える「会計力」を身につける「CAP」※

※ Course of Accounting Profession

高度職業会計人養成トラック「CAP」は、公認会計士、税理士、米国公認会計士、国税専門官などの資格試験合格を目指す学生のためのトラックです。簿記検定の資格を取得しているか否かにかかわらず、会計の専門性を武器に、高度職業会計人として社会で活躍したい学生であれば誰でも参加できます。CAPに参加し、修了要件を満たした学生にはCAP修了証書が授与されます。

CAP生は、CAP専用のメディア授業（オンライン授業）である「簿記論Ⅰ・Ⅱ」、「原価計算論Ⅰ・Ⅱ」、「財務会計総論A・B」、「管理会計総論A・B」を履修できます。メディア授業（オンライン授業）を積極的に導入し、時間割に縛られずに個人のペースで学習できる時間を増やし、各種資格の早期取得を後押ししています。また、入学後すぐに専門的な勉強を始めた学生向けに「会计学特別講義」と「会計プロセミナー」があり、より早く、より体系的に会計の専門知識を学べます。進路や学習上の悩みについては、会計学科の専任教員が一人ひとりの目標達成をきめ細かくサポートする「COMPASS!!」があります。さらに、本学経営学研究科および会計専門職研究科の大学院授業を先取り履修することもでき、学部レベルを超えた会計の知識とスキルを在学中に学べます。

輝ける未来への道～会計学科をフルに使う！～



※メディア授業(オンライン授業)
パソコンやインターネットなどのIT技術を活用した新しい授業スタイル。インターネット環境があれば、時間割や場所を問わずに自分のペースで学習できます。

※COMPASS!!
学生からの質問・相談に会計学科の専任教員が個別に答えるCAP独自のサポート体制。事務室へ質問や相談をするだけで内容に適した教員から個別に助言を受けられます。

※先取り履修
学部在学中に本学経営学研究科および会計専門職研究科設置科目を履修できる制度。本学部設置科目で不足している専門領域を補うことができます。また、単位を修得した場合、大学院進学後の申請により大学院の単位として認められます。

MESSAGE

小俣 光文 教授

企業が環境変化に対応して生き残っていくためには、自分の強み、弱みを把握して戦略を立てなければなりません。その時に必要なのが組織の状況を把握できるデータです。このデータを提供してくれるのが会計です。現代のように環境変化の激しい時代においては、会計士や税理士といった専門職はもちろんのこと、一般企業や国、地方公共団体、NPOでもビジネスの共通言語である会計を使いこなせる人材が強く求められています。CAPでは、会計を使いこなせる人材になれるよう、様々なプログラムを用意しています。CAPへ参加して将来の道を切り開きましょう。

PROFILE

早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学。監査法人朝日新和会計社(現あずさ監査法人)、明海大学経済学部専任講師、東京経済大学准教授を経て現職。主な研究テーマは「モニタリング機能を中心とした企業のガバナンス向上」。

デジタルイノベーションのための「データ分析力」を身につける「DIGIT」※

※ Digital Insights for Growth and Innovation Track

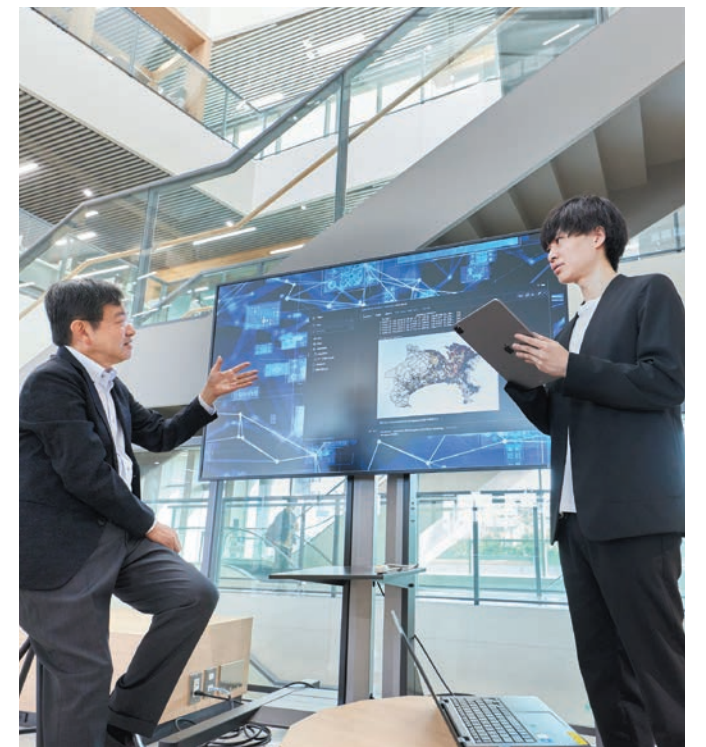
インターネット・IoT・AI等の技術革新によって、社会・経済のデジタル化が進展しています。

「デジタル経営人材開発トラック：DIGIT (Digital Insights for Growth and Innovation Track)」は、データサイエンス・数理統計・AI等のデジタル技術を利用・活用してビジネスデータ・ソーシャルデータの分析からインサイトを探索し、新たな社会の在り方やプロセス改革・新製品サービス開発・事業創造等のイノベーションを創造できる「デジタル経営人材」を育成する教育プログラムです。

これからの経営においては、変化に的確に対応し、より良い戦略・製品サービス、政策を立案するうえで、次のような能力が求められます。

〈デジタル経営人材に求められる能力〉

- ①経営課題を認識・選定する能力
- ②データ資源・数理・AI等のデジタル技術を活かしてプロセス・製品・事業を革新する能力
- ③データサイエンス・AI等を活用しデータを分析する能力
- ④経営に関する理論・知識を理解し、応用する能力
- ⑤課題解決に向けて、ステークホルダー（経営層、データサイエンティスト、顧客やパートナー、地域社会）と連携・調整する能力



DIGITの特徴・ポイント

- 「DIGIT入門演習」による動機付けからスタートし、基礎力・スキルの獲得後に、関連専門知識の修得と合わせ、「DIGIT実践演習」で応用力を開発する
- 全学の「数理データサイエンス人工知能リテラシーレベルプログラム」も併せて修了する

MESSAGE

歌代 豊 教授

皆さんはデジタルネイティブとして育ってきました。デジタル化は今後ますます進展していきます。このような時代に活躍できるのは、「デジタル」を梃子に社会・産業を転換できる「デジタル経営人材」です。DIGITでは、そのための基礎・スキルを得て、応用実践力を高めることができます。「デジタル経営人材」を目指そうという志のある方々の履修をお待ちしています。

PROFILE

上智大学理工学部卒業、筑波大学大学院経営・政策科学研究科修士課程修了。(株)三菱総合研究所で人工知能応用システム開発、経営コンサルティング等に従事。2004年明治大学経営学部助教授に就任、2009年より現職。専門は、経営戦略論、デジタルイノベーション。

講義だけじゃない!「現場を体感」し、 「現場で学ぶ」体験型授業 フィールドスタディ

フィールドスタディは、教室外でのフィールドワーク(現地調査)を通じた資料の収集と、それに基づくレポートの作成やプレゼンテーションの実施を核とする実習科目です。

まず教員と一緒に課題に対する問題意識を深め、「事前学習」で調査対象について学生自らが調べたうえで、「フィールドワーク」において現地で資料収集を行います。「事後学習」では、それらを分析し、独自の考察を加えたレポート・プレゼンテーションを作成します。調査対象は、企業、自治体、NPO法人、特定地域の

住民など、科目により様々です。

また、海外の企業調査をしたり、海外諸地域の生活文化を調べたりすることもあります。日本とは違う考え方や感じ方を身をもって体験し、多様性を理解する思考を身につけるのも、フィールドスタディの重要な課題になります。

本科目を履修し修了すると2単位が付与され、卒業要件単位に算入されます。

PICK UP

フィールドスタディA

人と場所をつなぎ、まちをデザインする取り組みの実践を学ぶ：岡山市奉還町の事例から

菊地 端夫 教授

1年次から履修することができるフィールドスタディAでは、岡山市の中心商店街で展開されているまちづくりを題材に、フィールドワークを通じた知見や資料の収集と、それに基づくレポートの作成という一連の知的プロセスを経験することを目的に毎年実施してきました。具体的には、岡山市内の奉還町を拠点に人と人、人と場所をつなぎ、まちをデザインする取り組みを実践している組織(本学卒業生も中心にかかわっている企業)を拠点に、現地でのインタビューや関係機関の訪問を通じて、まちの有機的なつながりを探り出し、どのような組み合わせやマネジメントがそこに住む人に響くことができるのか、生活者の視点にたって多面的に検討を行っています。これから多くの学生にフィールドワークの醍醐味を味わってもらえればと願っています。



グループ研究の成果発表をしているところ



現地での聞きこみの様子

(2024年度実施時の写真)

STUDENT VOICE

1年
長谷部 智大

愛媛県
私立愛光高等学校卒業



現地の実情を見て、聞くことで 初めて本当の解決法が見えてくる

少子高齢化など過疎化が進んでいる地域の課題解決に役立ちたいという思いからフィールドスタディに参加。3泊4日で岡山市に赴き「岡山に住んでいる外国人との交流」について考えました。岡山で働く技能実習生たちと交流する中で彼らが置かれている立場や現状を知り、私たちが相手に対して「こうなって欲しい」という考えを押し付けていることに気づきました。現地で直接お話を

同う中で、準備していた仮説と照らし合わせながら知識を更新できたのはとても貴重な経験です。インターネット発達により様々な情報を得られますが、現地でしか得られない情報も多いです。事前調査の内容と異なることもあり、仮説を実証するうえでも現地調査の重要性を学びました。机上の空論で終わらずに地域のリアルな姿を見つめ、知識をアップデートしていきたいです。

[2025年度フィールドスタディ テーマ一覧] ※年度によりテーマ・内容を変更する場合があります。

履修開始 年次	科目名	開講	テーマ	主な実習地(予定)
1年～	フィールド スタディ A	春	人と場所をつなぎ、まちをデザインする取り組みの実践を学ぶ： 岡山市奉還町の事例から	岡山県岡山市
	フィールド スタディ B	秋	自らなりわいを創る	長野県上田市または大分県別府市
			インドネシアにおける日本企業のマーケティング戦略を調査する	インドネシア、ジャカルタ等
			稲盛哲学を学ぶ	京都府京都市
2年～	フィールド スタディ C	春	産業観光の可能性、公共文化施設による地域振興	石川県金沢市、富山県高岡市
			京都企業の歴史と現在	京都府京都市、滋賀県草津市
			地方都市の現場	大分県別府市、佐伯市
			日本の自動車産業の現在と未来	日本国内
	フィールド スタディ D	秋	スペインと日本の文化差異に関する実態調査	スペイン
			ものづくり現場の観察	日本国内
			アジアにおける製造業・サービス業調査(シンガポール)	シンガポール
			様々な組織体によるCSR活動	日本国内
			製造業現場のフィールドワーク	日本国内

フィールドスタディD

スイスとドイツにおけるブロックチェーン技術の活用に関する現地調査

清水 一之 教授

本フィールドスタディでは、ドイツにおけるブロックチェーン技術と分散型電源(DER)の活用に着目し、5泊6日の現地調査を実施しました。ドイツでは再生可能エネルギーの推進が進み、ブロックチェーンとDERの融合による効率的なエネルギー管理が注目されています。調査では、IAV社、欧州中央銀行、フォルクスワーゲン社を訪問。IAV社では、自動車業界におけるブロックチェーンの導入可能性やEVのエネルギー供給源としての活用について議論しました。欧州中央銀行では、グリーンボンドを通じた持続可能な投資と金融政策の影響を確認。フォルクスワーゲン社では、EVを活用した分散型電源技術を見学し、エネルギーインフラ分散化の可能性を考察しました。

今回の調査を通じ、ドイツの先端技術の革新性を実感し、持続可能な社会構築への示唆を得ることができました。



(2024年実施時の写真)

フォルクスワーゲン社の工場とアウトシュタットを訪問し、次世代のEV車の可能性について視点を広げることができました。

MESSAGE

このフィールドスタディは、欧米におけるブロックチェーン技術の深い理解を目指す貴重な機会です。金融業の秘密保護から暗号資産事業への移行、自動車産業での技術革新に至るまで、幅広い応用可能性を探索します。新規事業や起業における知識と理解の深化を目指し、訪問地での学びを活かし、技術の可能性や社会への影響を考察しましょう。この体験は、将来に向けた洞察と実践的な学びの場となります。ブロックチェーン技術に限らず、参加者とともに研究テーマを柔軟に考え、皆さんの積極的な参加と貢献を期待しています。

PROFILE

明治大学商学研究科博士課程修了。博士。明治大学経営学部専任講師を経て現在、明治大学経営学部教授。アイルランド共和国ケミー・ビジネス・スクール、リムリック大学客員研究員。主にコーポレート・ガバナンス、ステークホルダー論、インダストリー4.0(第4次産業革命)、ブロックチェーン技術の産業への援用可能性について研究。

グローバル・サービslラーニング



グローバル・サービslラーニング (GSL) は、経営学部独自の海外サービslラーニング科目です。サービslラーニングとは米国の大学で広く取り入れられた実践的教育活動で、単なるボランティア実習ではなく、「社会奉仕」(サービス)活動を通じて課題解決のための知識を修得することを目的としています。日本と異なる経済状況、文化・生活習慣のなかでボランティアを経験

し、教員や専門家の指導の下、現地の具体的な社会課題について考え、解決するための社会貢献活動を行います。本科目は、年2講座開講しており、GSL A (春学期開講)は夏休み期間中、GSL B (秋学期開講)は春休み期間中に、海外において約2週間の実習を行います。本科目を履修し修了すると2単位が付与され、卒業に必要な単位数に算入されます。

[活動内容例 (2024年度実施)] ※実習先や実習期間は都合により変更する場合があります。

グローバル・サービslラーニングA

小関 隆志 教授

〈実習期間〉8月～9月(15日間)

〈実習先〉インドネシア共和国(バリ島)

- ① 高校の日本語クラスに授業補助として参加し、日本語を教えるほか、プレゼンテーションで日本の文化を紹介する
- ② 孤児院にて子どもたちと交流し、料理を作ってふるまう
- ③ 日本語専門学校のクラスに授業補助として参加し、学校の記念イベントに参加して生徒と交流する
- ④ 観光地などのビーチのごみ問題に着目し、クリーンアップと観察
- ⑤ ごみ山(廃棄物処分場)の実態を観察し、ごみ山周辺で暮らす貧困層の人々を支援するNGOを訪問し交流する
- ⑥ 都市部の交通問題：深刻な道路の渋滞と未整備の状況を観察
- ⑦ 文化体験：島内の著名な観光地を訪問し、伝統舞踊の鑑賞などの文化を体験する

STUDENT VOICE

経営学科3年
川井 慎太郎
大阪府
私立関西大倉高等学校卒業



文化的背景の異なる人との交流が判断力と対応力の向上につながった

バックグラウンドが異なる人々とかかわることと自分の視野を広げ、柔軟なもの見方ができるようになりたいと思い、グローバル・サービslラーニングを受講。プログラムの中で、日本語学校の生徒や孤児院の子どもたちとかかわる機会がありました。何をすれば彼らのためになるかを考え、事前準備は念入りに行いました。現地では言語の壁や予想外の出来事に見舞われ、予想通りにいかな

いこともありましたが、ハプニングが起こった時は、相手のニーズを考え、メンバーと協力して柔軟に対応。より良い結果になるように尽力しました。プログラムを通じて、予想外の出来事にも冷静に行動し、うまく対応できるようになったと感じます。社会に出て、様々な可能性を考慮し、かかわる人の気持ちに寄り添いながら最適解を導き出せる人間になりたいです。



経営総合講義



経営総合講義は、PBL (Project Based Learning) 型の実践授業です。授業では、実際のビジネスの現場で直面するような問題が課題として取り扱われます。受講生はチームに分かれ、協力して課題解決の方策を考え、調べ、検討し、その結果をまとめ、プ

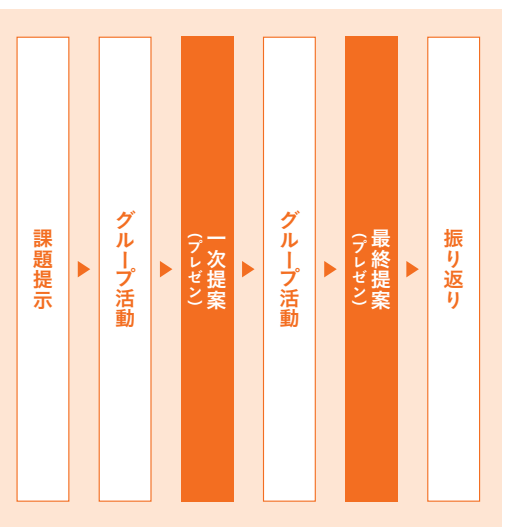
レゼンテーションします。実際のビジネスシーンに限りなく近い体験ができます。

この授業でのリアルな体験を通じて、社会で求められるスキルに気づき、大学生活で何を学ぶべきかを感じ取ってほしいと思います。

[協力企業と課題 (経営総合講義・実施例)]

企業	テーマ
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド	・どうやったら、海外のお客さまに入室していただけるか？ ・さらに、いかにアクティブ会員を増やしロイヤルカスタマーまで醸成するか？ ・もちろん、国内会員の入会もどう増やしていくか？ ・そして、いかにシンプルで誰もがわかりやすい内容でうちだすか？
東急ホテルズ&リゾーツ株式会社	STREAM HOTEL ブランド(札幌・渋谷)の認知拡大施策を考える
三井住友海上火災保険株式会社	ニューリスクマーケットへの新たな取り組みを考案せよ
株式会社中村屋	コンビニのカウンター(レジ機)で新商品を発売するにあたり、商品コンセプトと、その商品を守る什器(機械)のコンセプト、その商品を持ち出す際の4P戦略について
JA全中	どうしたら、より多くの方々に、食に関する世界や日本の状況に関心を持ってもらうことができるでしょうか。イベントを行う等の施策を中心に考えてみてください。
株式会社アールディーシー(がってん寿司)	窮地を救え！新卒採用サイトの新提案
株式会社イトアンドホールディングス(大阪王将)	実際の店舗で、『メニューを開発』食シーンに価値を生み出そう！

[講義の流れ (以下のフローを2回)]



特別講義

時代の要請に応じたテーマについて、多彩な授業形態による特別講義を開講することにより、独自の特色ある教育を展開しています。

授業回ごとに学内外から広く識者をお招きするオムニバス形式の授業を設置しており、第一線で活躍する実務家・専門家のゲスト講師から、最新の事例や情勢について学ぶことができます。また、英語により学ぶことができる授業やプロジェクト型学習の授業も開講しています。



経営学特別講義A 学生のための社長学

経営学部のゼミナール教育

経営学部のゼミナール（演習）は、1年次から履修可能な「教養演習」「外国語教養演習」「基礎専門演習」と2～4年次の「演習」があります。「演習」では合宿や他大学との交流を行うゼミもあり、4年次には大学生活の集大成となる卒業論文を書きます。

1つのテーマについて深く掘り下げて研究する方法や、論理的にまとめて発表する方法を学びながら、苦勞してつくり上げた卒業論文は大学生生活の集大成といえるでしょう。

注目の演習科目

人事労務管理を中心にして企業経営と社会を学ぼう

山崎 憲 教授



働くって、働かせるってどういうことだろう。正社員、非正規、フリーランスのように色々なかたちがあります。新卒から定年間際の人までの年齢の幅、男性、女性や多様な性、外国人。働く側は対価としての賃金を得る一方で、働かせる側は労務費としてコストにな

ります。それだけでなく、働く人も働かせる側ともに社会の構成する要素の一つです。家庭、地域、学校、国というように誰もがどこかに所属しています。これらにまつわることにみんなで意見を寄せ合うことを通じて、就職や進学に進む力を養っていきます。

会計の歴史を知ることによって発想力を養う

森田 広大 専任講師



会計は企業の経営活動を情報化する手続きであり、その情報は投資家の投資意志決定や、企業内における経営の意志決定に活用される重要なものです。会計は少なくとも500年を超える歴史があり、商業や法制度とともに発展して今日に至ります。会計の歴史を

知ることは、その当時生じていた問題を先人たちがどのように乗り越えてきたのかを知ることにつながります。当ゼミは、現代会計のテーマを出発点として、その論点の歴史に触れることで、現代会計が抱える課題解決のための発想力を養います。

楽しみなくして得るものなし。公共経営の学びの楽しみと醍醐味をともに味わおう

菊地 端夫 教授



菊地ゼミでは、基本的な内容の文献研究にはじまり、グループによる論文の執筆やプレゼンテーション、そして4年次には個人の卒業研究論文をじっくりと時間をかけて仕上げます。この間、合宿やフィールドトリップ、OBOGを交えた懇親会、さらには海外からの交換留学生

が参加することもあり、ゼミ生同士のタテとヨコのつながりを深めています。ゼミの主役は学生であり、教員はその活動を精一杯支えています。同じ志を持った仲間とともに切磋琢磨しあい、卒業後も長きにわたってつきあいの続く一生ものの仲間に、ゼミで出会いませんか。

異文化コミュニケーションを通して持続可能な未来を構築する

キアナン・パトリック 教授



このゼミのテーマはビジネスにおける異文化コミュニケーションです。言語や画像、ファッション、音楽、様々な形態のセミオティクスを通じたコミュニケーションは、人間を特徴づける要素です。これは私たちを人間として結びつける一方で、言語が個人やコミュニティのアイデンティティ、さらには私たちを際立たせる

企業ブランドや文化を形作るため、潜在的に私たちを分断する可能性もあります。このゼミでは、学生たちは個別およびグループプロジェクトを通してコミュニケーション、文化、ブランディングについて探求し、分断を超えたコミュニケーションを通じて倫理的で持続可能な未来を構築することに重点を置いています。

多様性社会の中心で日本文化を学ぶ

森田 直美 教授



グローバルな視野や、多種多様な文化を理解する姿勢が求められる現代だからこそ、私たちの立脚点である日本各地の文化を深く知ることは重要です。私のゼミは、歴史文化や伝統産業に特色のある土地での実地学習（フィールドスタディ）を中心に置き、事前・事

後学習で理論的な部分を押さえながら展開しています。様々な地域の方々と交流する経験は、主体性やコミュニケーション力の向上につながるだけでなく、スピーディで予測困難な時代において、自分らしく柔軟に生きる術を学ぶ機会になると考えています。

国際社会で生かせる力を身につける

経営学部では入学時に英語・ドイツ語・フランス語など7つの言語から2カ国語を選択します。英語の場合、GREAT [詳細はP.07](#) 以外の学生は1年次のみ必修です。4技能の強化をはじめとした様々な内容のうち、学びたい2クラスを選びます。2年次にはさらに自由な選択が

可能で、英語の選択はもちろん、初習外国語の時間を増やすことや、全学の共通授業で新たな言語を履修することもできます。海外留学や外国語検定試験のスコアに基づく単位認定を申請することも可能です。多様な選択肢の中からグローバルな能力を育ててください。

〔経営学部の外国語科目〕

1・2年次

・英語
・ドイツ語
・フランス語
・中国語
・ロシア語
・韓国語
・日本語（留学生向け）

1～4年次

・TOEFL Reading / Listening / Speaking / Writing
・TOEFL Preparation
・English Exams
・Speech and Debate
・Genres of Writing
・英語表現論
・英語コミュニケーション（初級、中級、上級）
・ドイツ語コミュニケーション（初級、中級、上級）
・フランス語コミュニケーション（初級、中級、上級）
・中国語コミュニケーション（初級、中級、上級）
・英語スペシャルスタディ

〔グローバル社会で通用するコミュニケーション能力向上のためのプログラム〕

英語プレゼンテーション大会

英語でのプレゼンテーション能力の向上を目的として開催しています。個人、グループを問わず、これまで研究してきた成果を英語で披露し、優秀なプレゼンターは表彰され、賞金が授与されます。

英語ライティングコンテスト

「書く」英語力の向上を目的として、開催しています。特にビジネスの現場では、英語でのEメールや、自分の考えを発信することが求められます。800語程度の英語エッセイの中で、構想力、論理展開、リサーチスキル、十分かつ簡潔な英語表現力を競います。

i-meeting（アイ・ミーティング）

i-meetingとは、経営学部で行っている独自の国際交流イベントです。留学生（交換留学生を含む）、一般学生、および教職員が参加し、異文化に関するプレゼンテーションやゲーム、各国料理を楽しみながら、国際理解を深め、異文化コミュニケーションのスキルを高めています。

経営学部独自の外国語検定サポート 経営学部では語学修得のサポートのため、各外国語検定の試験料補助を行っています。

TOEIC® 試験

IP：年1回・1年次は年2回（全額補助）

経営学部では、獲得したTOEIC®スコアを基準に自分に合った英語クラスを選択・履修させ、定期的な英語力チェックを行うことでさらなるスコアアップにつなげています。

TOEFL® 試験

IELTS™ 試験

ITP：年2回（全額補助）、iBT：年1回

※TOEFL iBT試験、IELTS試験は年間1人1検定のみ助成

英語圏の多くの大学がTOEFL®やIELTS™のスコアを交換留学の出願条件としており、留学を希望する人は、留学希望先の大学が要求するスコアを取得しておく必要があります。

各種外国語検定試験

春学期、秋学期各期1回（全額補助）

初習外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語）の外国語検定試験について、春季または秋季のいずれから年1回、検定料を全額補助しています。

外国語検定試験による単位認定

TOEIC®、TOEFL ITP®, TOEFL iBT®, IELTS™の最終到達スコアに応じて「認定科目(外国語科目)」の単位が認定されます。

PICK UP

注目授業



TOEFL Preparation

山下 佳江 教授

リーディング強化と語彙力アップでTOEFLのスコアを伸ばそう！

TOEFL iBTテストは、海外大学での英語による講義の理解をはじめ、英語によるディスカッション、プレゼン、リサーチペーパーなど様々な活動が十分に行えるかどうかを測るテストで、通常80点以上求められます。本授業では、まず講義をよりよく理解できるようリーディングの強化とアカデミックな内容を十分に扱える語彙力を増やすため、語源について学び、より生産的に語彙を学ぶ方法を身につけます。



フランス語コミュニケーション上級

折方 のぞみ 准教授

フランス語で「世界」をより身近に！

視聴覚教材とテキスト学習をバランスよく取り入れ、「使える」語学力を身につけるための授業です。リスニング力やコミュニケーション力をアップして旅行や留学の準備をしたい人、留学生と交流したい人、スポーツ選手のSNS発信を聞き取りたい人、資格試験対策をしたい人など、様々な目的に適しています。世界で2番目に多くの国で話されているフランス語の学習を通して、自分の世界を広げてみませんか？

STUDENT VOICE

経営学科 4年

和波 志栞

静岡県立
静岡東高等学校卒業



自分の興味関心を活かして主体的に研究を進めることが可能

経営学部のゼミは、学生の興味に合わせて研究テーマを設定することが可能です。自分が興味を持ったテーマを経営学の視点で掘り下げていきます。日々の研究方針についても、学生同士のディスカッションによって決定します。私が取り組んだ「ワインツーリズムによる町おこしの研究」では、マーケティングや地方創生などのテーマを網羅的に取り入れた研究になり

ました。他のゼミ生の関心分野とクロスする部分もあり、ゼミ生や先生に積極的に発信していくことで、ゼミ全体の知見を増やすことができたと思います。ゼミ活動を通して得られた主体性は、社会に出てからも役に立つと思います。お客様のニーズに応えながら、期待以上の成果を生み出せるよう自分から働きかける姿勢を大切にしていきたいです。

幅広い知識と「社会人基礎力」を養う

「教養科目」は、専門分野を学ぶための基礎学力を身につけるとともに、将来過ごすことになる職場や地域社会で多様な人々とかわりを持ちながら生きていくために必要な「社会人基礎力」を育成することを目的としています。授業では多様性を理解し、多角的にものごとを見る眼を養うことに力を入れており、社会で働く際に必要不可欠である柔軟な思考力と課題を自ら発見する力を身につけられるよう多様な科目を配置しています。「Global Issues」のように英語によって行われる授業も用意されています。

基本的なスキルを身につけるための授業には、論理的に筋道の通った文章を書く能力を養い、論文やレポートの書き方を学べる「レポート・論文作成法」があります。さらに、先生と近い距離で気軽に質問をしたり話し合いをしたりしながらあるテーマに基づいて深く勉強することができる「教養演習」や「外国語教養演習」のような少人数ゼミ形式の授業もあります。



[経営学部の多彩な教養科目]

PHILOSOPHY	SCIENCE	SOCIETY	EXERCISE	READING & WRITING	DISCUSSION & COMMUNICATION
・社会思想 ・言語思想 ・倫理思想 ・哲学 ・宗教思想 ・哲学基礎論	・自然科学思想史 ・統計学 ・化学 ・健康科学 ・生理学 ・物理学 ・生物学 ・文化人類学 ・数学 ・自然人類学 ・地理学	・社会学 ・心理学 ・西洋史(総論／各論) ・日本事情 ・Global Issues ・経営総合講義 ・政治学 ・法学	・スポーツ・レジャー・レクリエーション論 ・体育実技 ・トレーニングの科学 ・現代社会とスポーツ ・選択体育実技	・外国文学(英米、ドイツ、フランス、中国) ・言語表現論 ・日本文学 ・日本文学(現代) ・手話コミュニケーション(初級・中級) ・レポート・論文作成法 ・日本語論	・教養演習 ・外国語教養演習(J/E)

PICK UP 注目授業



スポーツ・レジャー・レクリエーション論
吉松 梓 准教授

「遊び」を通して自分と社会を考える

「遊び」と聞くと、「学業」とは正反対のイメージがあるかもしれませんが。実は、スポーツ・レジャー・レクリエーションの語源には「遊び」という共通点があります。本授業では、「遊び」が私たちの発達や心身の健康にどのような役割を果たしているのか、地域や自然環境の問題、体験格差などの解消にどう貢献できるのかを学びます。グループでのディスカッションを通して多様な視点に出会いましょう。



経営基礎数学A
高澤 陽太郎 専任講師

経営の意思決定を数理で解き明かす！

経営基礎数学Aでは、経営上の意思決定を数理モデルとして捉えるオペレーションズリサーチの基礎を学びます。ケーススタディを通じて、複雑な問題を最適化するためのモデリング技術に重点を置き、生産計画やネットワークの最適化など、実際のビジネスシーンで活用できるスキルを身につけます。Excelを活用し、実践的な課題を通じて学びを深め、最終発表ではグループでの議論を経て成果を発表します。

「基礎専門科目」で専門教育の基盤をつくる

「基礎専門科目」は各学科の専門的学習のための基盤となる科目です。1年次から履修できる科目も多く、早くから経営にかかわる専門的学習ができます。

社会の現場においては、組織構造や組織構成メンバーの人間関係・心理・健康など組織内的要因とともに、国内外の経済・法・政治・文化・社会・自然環境など組織外的要因も対象として、広い視野から問題を捉えて考察し、様々な提案ができることが必要です。

またITやAIの発展にともなうビッグデータ活用や第4次産業革命、企業活動の国際化、地域における多文化共生などへの対応が重要な現代において活躍するためには、イノベーションにともなう企業や経済・社会の歴史的変容に関する経営学的理解とともに、情報処理、統計処理、調査、専門的コミュニケーションなどのスキルを大学時代にさらに磨くことも重要です。



[経営学部の基礎専門科目]

分類	科目名		
経営学の基礎に関する基礎専門科目	・簿記論 ・Fundamentals of Management (E) ・経営史	・経営基礎数学 ・経営心理学 ・マーケティング基礎論	・情報化社会論
経営学の応用に関する基礎専門科目	・経営統計学 ・社会調査法 ・経営社会学 ・産業生理学	・経営と環境 ・企業の社会的責任論 (J/E) ・ネット・ビジネス論 (J/E) ・コンテンツ・ビジネス論 (J/E)	・戦略経営情報システム論 ・経営文献研究
経営にかかわる経済を学ぶ基礎専門科目	・経済原論 ・ビジネス・エコノミックス	・Japanese Economy (E) ・経済史	・日本経済史 ・経済地理学
経営にかかわる法律を学ぶ基礎専門科目	・ビジネス法 ・会社法	・手形法・小切手法 ・財産法	・税法 ・労働法
経営の国際化に対応した基礎専門科目	・Transcultural Business Communication (E) ・Strategic Business Communication (E) ・イギリス文化論 ・アメリカ文化論 (J/E) ・ドイツ文化論	・東欧文化論 ・中国文化論 ・フランス文化論 ・東南アジア文化論 ・海外経営事情	・ビジネス英語 (J/E) ・Business Presentation (E)
時代の要請に応じたテーマを取り入れた講義	・基礎専門特別講義		
少人数ゼミ形式の基礎専門科目	・基礎専門演習 (J/E)		

※(E)は「英語で実施する授業科目」を示します。
※(J/E)は年度により「日本語または英語で実施する授業科目」を示します。

PICK UP 注目授業



ドイツ文化論
畑 一成 准教授

ドイツを知って、EUのルール作りを理解しよう

ドイツは欧州最大国で、EUのルール作りに大きな影響力を持っています。近年のドイツでは、環境問題とデジタル社会が、最重要課題とされています。授業では、この課題の背景にある科学史や哲学史を丁寧にたどりながら、環境とデジタルの本質を考察し、現代のEUのルール作りにどうつながるのかを理解します。哲学的思考や科学的思考の修得を通じて、ルール形成能力の獲得を目指します。



経営と環境
松野 裕 教授

私たちはどうするのか

日本は高度成長期に深刻な公害問題を経験しました。我々の社会は迅速な対応ができませんでした。21世紀に入り、大規模な原発事故が発生し、今も故郷に戻れない人が大勢います。そして、世界は今まさに気候変動問題に直面していますが、各国の対応は不十分で、生き物や人間への甚大な被害が確実視されています。これらの問題がどのようなものか、どう対応したらいいのか、ともに学びましょう。



今日の急激で大きな経営環境の変化は、企業と社会に多くの
変革を迫っています。そのため経営学科では、近未来の変化を
機敏に読み解き、企業の経営の方向性を定めることができる人
材の育成を目的としています。急速な経済のグローバル化に対
応する国際経営戦略に関する科目や、働きがいや雇用問題と
いった身近な問題に対応する人的資源のマネジメントに関する

科目、知識情報化の進展に対応する情報と技術のマネジメント
に関する科目を有機的に配置し、理論・歴史・実証といった様々
な視点から展開しています。さらにゼミナールでは、専門に特化
し、より深く学んでいきます。皆さんも時代の要請に応えた幅広
いカリキュラムを通し、一緒に経営学科で、現代の企業と社会
を多面的に読み解いていきましょう。

【 学 科 設 置 科 目 】

注）※は基礎専門科目、(E)は「英語で実施する授業科目」、(J/E)は年度により「日本語または英語で実施する授業科目」、(GSBA)は「大学院経営学研究科との共同設置科目」を示します。

学部共通		経営学科		
1 年 次		2 年 次	3 年次～4 年 次	卒業後
学部必修	経営総論 経営学 会計学 公共経営学 近代経済学	学科選択	〈日本の企業〉 企業論 〈人と組織〉 経営管理論	進路（一例） 経営者・起業家 ベンチャー企業 事業継承 戦略スタッフ 専門職 経営コンサルタント 中小企業診断士 社会保険労務士 色々な業界 メーカー 金融 商社 情報通信 保険 不動産
	簿記論 / 簿記技能 経済原論、経済史 日本経済史、経営史 ビジネス法 情報化社会論 経営心理学（2年次から） 経営基礎数学 社会調査法 マーケティング基礎論 （2年次から） 基礎専門演習 基礎専門特別講義 など		〈理念・文化・歴史〉 経営哲学、経営学史、日本企業者史 日本経営史、国際経営史 経営文化論、文化論 [※] （英（J/E）、米、仏、独、中、日、 東南アジア、東欧） Family Business（GSBA）（E） 〈戦略・マーケティング〉 経営戦略論 イノベーション・マネジメント マーケティング・マネジメント グローバル・マーケティング論 Strategic Marketing（E） The Future of E Business（GSBA）（E） E Commerce（GSBA）（E） Strategic Management（GSBA）（E） International Marketing（GSBA）（E） Service Marketing（GSBA）（E） 〈モノ・金・情報とその分析〉 生産管理論、経営技術論 ナレッジ・マネジメント論 財務管理論、経営統計学 [※] 現代コーポレートファイナンス論 リスクマネジメント論 技術戦略論、経営情報論 Information Ethics（GSBA）（E） Information Science（GSBA）（E） Corporate Finance（GSBA）（E） Investments（GSBA）（E） 〈人と組織〉 経営社会学 [※] 、経営組織論、能力開発論 人事労務管理論、雇用関係論 組織行動論、労使関係論 企業内教育論、産業生理学 [※] Organizational Behavior（GSBA）（E） Human Resource Management（GSBA）（E） 〈グローバル〉 Transcultural Management（E） Comparative Business Management（E） 国際経営論（J/E） 比較経営論（米、中、露・東欧、西欧） 経営学外国書講読 Transnational Management（GSBA）（E） 〈日本の企業〉 Strategic Analysis of Japanese Companies（E） Innovation Strategy in Japan（E） 日本経営論、中小企業論 ベンチャービジネス論 〈法律関係〉 会社法 [※] など	
経営学特別講義		学科によらず共通の科目についてはP.06を参照してください		

STUDENT VOICE

現場で活躍する方から
経営に関する
生きた知識を得られる

経営学科 4 年
山崎 智哉

東京都
私立明治大学付属八王子高等学校卒業



Q 印象に残っている授業は？

Answer 経済や会社の仕組みを学べる授業も目白押しで、社会に出てから生かせる知識を幅広く学べます。特に人事労務管理論では、組織の構造について深く学習することが可能。自分がこれから進む会社はどのような仕組みをとっていて、そこにはどのようなメリットがあるかといった人事労務に関する知見を得ることができました。

Q 経営学科で自分が成長できたことは？

Answer 企業が発信している情報から企業分析を行えるようになった点です。企業がどのような活動形態で、その強みや弱みがどこにあるのかを考察する力が身につきました。たとえば就職活動の面接では、周りと異なる視点で意見が出せるようになり、面接官に印象を残すことができるようになったと感じました。「経営」という分野を越えて、社会に通用する力が身についたように思います。

Q 受験生にメッセージをお願いします。

Answer 大学では私生活はもちろん、時間割などの学業に関することも自分で決めなければいけません。自ら行動ができる人とそうではない人では、学生時代に得られるものに大きな違いが生じてきます。高校生の時から自分の力で何かを成し遂げる、チャレンジをするように意識してみてください。その経験が自分の人生の糧になります。

PICK UP

授業

世界視点のマーケティング

グローバル・
マーケティング論

古川 裕康
准教授



近くにあるお店に入ってみてください。そこには日本発の商品だけでなく、海外発の商品も沢山並んでいます。いまや企業には国内だけでなく、海外のお客さんが求めているモノ・コト、行動様式、価値観を理解することが求められているのです。海外を見ることは、自分と相手の「違い」を知ることです。違いをどう活用してビジネスにつなげるか。これを考えることは、今までは気が付かなかった自分の姿を知るきっかけにもなります。

組織をめぐる見えないチカラ

経営組織論

谷口 諒
准教授



組織は、個人の集まりですが、単なる「集まり」ではありません。人が集団をなし、組織をつくりあげると、良くも悪くも、そこには見えないチカラが生まれるのです。そのため、組織は、ひとりであれば不可能なことができたり、逆に、しなかったはずの愚かな行為を取ってしまったりもします。本講義では、個人、集団、組織、社会の視点に分けて、組織をめぐる見えないチカラを一緒に考えていきます。

STUDENT VOICE

グローバル・マーケティング論

経営学科 4 年
原 菜那子

長野県
私立長野清泉女学院高等学校卒業



複雑な事象でも、実例をもとに「なぜ」を解消できる

人を魅了する方法や商品の売り方などに興味があり受講しました。先生の解説は身近な例を用いた分かりやすいもので、難しい専門用語もスムーズに理解することができます。企業がグローバル・マーケティングについてどの

ように考えているのか、分かりやすく学ぶことができ、企業に対する知識も深まりました。また、受講者の前でプレゼンをする機会がありましたが、学んだ内容を自分の言葉で説明する力がついた良い経験でした。



グローバル化と情報通信技術の進展により、社会の変化は速く、複雑化しています。営利・非営利にかかわらず、組織をマネジメントする人には、組織の現状を的確に把握し、先行きを見透し、その情報を関係者間で共有できることが重要です。

「Accounting（会計）」は独自の仕組みを通じて、組織の経済活動をデータ化します。そのデータを利用・分析することによって組織の現状を解明でき、関係者に説明できるようになります。会計は組織運営に携わる人々の助けとなり、会計を使いこなせる能力は強力な武器となります。

会計学科では、組織内部のマネジメントに役立つ会計から組織外部へのディスクロージャー（情報開示）に役立つ会計まで幅広く学ぶことができます。体系的なカリキュラムを通じて、会計データの作成、理解、分析、活用に必要な能力を養います。また、経営学部には、公認会計士や税理士などを目指す学生のための「高度職業会計人養成トラックCAP（Course of Accounting Profession）」があり、会計学科がCAPを全面的に支援しています。会計は国境を越えて用いられる世界共通の言語であり、グローバル価値創造人材には欠かせません。会計の力を磨き、専門性を武器に、自信を持って世界へ羽ばたいてください。

〔 学 科 設 置 科 目 〕

注）（１）は「1年次から履修できる学科専門科目」、（２）は基礎専門科目や他学科専門科目で履修を推奨する科目、（E）は「英語で実施する授業科目」、（J/E）は年度により「日本語または英語で実施する授業科目」、（GSBA）は「大学院経営学研究科との共同設置科目」を示します。

学部共通		会計学科						
1年次		2年次		3年次～4年次		卒業後		
学部必修	経営総論 経営学 会计学 公共経営学 近代経済学	学科選択	〈マネジメント〉 管理会計総論 ⁽¹⁾ 原価計算論 ⁽¹⁾ 〈ディスクロージャー〉 財務会計総論 ⁽¹⁾ 中級簿記論 上級簿記論 Basic Accounting ^{(1)(E)}	〈マネジメント〉 原価管理論 マネジメント・コントロール 経営分析論 会計情報システム論 生産管理論 ⁽²⁾ Management Accounting (E) 〈ディスクロージャー〉 財務諸表論 監査論 現代会計基準論 環境会計論 NPO会計論 公会計論 Financial Accounting (E) Advanced Financial Accounting (GSBA) (E) Financial Statement Analysis (GSBA) (E)	〈グローバル〉 会計学外国書講読 国際財務報告論 英文会計 会計史 〈タックス&ロー〉 法人税法 税務会計論 会社法 ⁽²⁾ 手形法・小切手法 ⁽²⁾ 財産法 ⁽²⁾ 税法 ⁽²⁾ 労働法 ⁽²⁾	〈ストラテジー、マーケティング&オーガニゼーション〉 経営戦略論 マーケティング・マネジメント ⁽²⁾ 経営組織論 ⁽²⁾ 中小企業論 ⁽²⁾ ナレッジ・マネジメント論 ⁽²⁾ 国際経営論 (J/E) 比較経営論 (アメリカ) Strategic Analysis of Japanese Companies (E) 〈ファイナンス〉 財務管理論 現代コーポレートファイナンス論 Corporate Finance (GSBA) (E) Investments (GSBA) (E)	進路（一例）	資格職 公認会計士 税理士 国税専門官
	基礎専門 簿記論 / 簿記技能 経済原論、経済史 日本経済史、経営史 ビジネス法 情報化社会論 経営心理学 (2年次から) 経営基礎数学 社会調査法 マーケティング基礎論 (2年次から) 基礎専門演習 基礎専門特別講義 など					企業内 スペシャリスト 最高財務責任者 (CFO) 管理会計担当者 経理財務担当者		
会計学特別講義、会計プロセミナー		学科によらず共通の科目についてはP.06を参照してください				総合職 国際的メーカー 金融 商社 外資系金融		

STUDENT VOICE

職域に関係なく 社会の様々な場面に 深くかかわる学問

会計学科3年

西 優希

北海道
市立札幌旭丘高等学校卒業



Q 印象に残っている授業は？

Answer 「財務諸表論 A」です。授業の最初に先生が、新聞記事から授業の内容と関連するニュースを取り上げてくださり、おかげで財務諸表を読み解くにあたって必要な知識や業績を分析するための諸指標についての理解が深まりました。学んだ理論が実社会にどのように結びついているのか意識する力が身につきました。

Q 会計学科で自分が成長できたことは？

Answer 企業の業績を判断する際に、単なるイメージではなく目の前の数値から判断していくことの重要性和その方法を学びました。ゼミで取り組んだ企業比較分析では、自分の気になっている業界を分析。ゼミ生や先生からの指摘をもとに課題を見つけ、分析の精度を上げることができました。

Q 受験生にメッセージをお願いします。

Answer 会計学は公認会計士や税理士などの職業会計人だけが専門的に学ぶ領域だという認識がありました。しかし、会計学を通して社会を見ると、様々な事象に関係していることが分かりました。会計学に無縁の人生を歩む人はいないでしょう。会計学を学ぶおくことは、自身の人生を切り開く術になると考えています。ぜひご検討ください。

PICK UP

授業

これからの経営には税法が必要

税法

税金はとても身近な存在です。お店で商品を購入するときには消費税が、アルバイトをすると所得税がかかわってきます。あらゆる経済取引を行うときに、税金は重要な考慮要素となりますが、その根拠となっているのが税法です。税金は計算だけだと思いませんか？これからの企業戦略には、税法を理解する法的思考が求められます。最新の事例と一緒に学びましょう。

加藤 友佳
准教授



会社を経営するための具体的な仕組みとは？

管理会計総論

会社を経験や勤ではなく、データや情報に基づいて経営するにはどうするか。この授業では、経営環境の分析、戦略や計画の策定と実行、業績の評価と改善に役立つ情報を作り出し活用するための管理会計について学びます。授業は講義と演習（グループワークや計算問題への取り組み）を組み合わせ、実践をしながら管理会計の知識やスキルが身につくように行っています。

大槻 晴海
教授



STUDENT VOICE

税法

会計学科3年

寺山 千智

埼玉県
私立本庄東高等学校卒業



税制の根幹を学ぶことで、税に対する正しい知識が身についた

普段支払っている税金について知らないことが多く、「納税すること」について改めて学びたいと思い受講しました。国家の主な歳入は税収です。実際の判例を通して税法を学ぶ中で、国と納税者双方の意見を参

考に、自分なりに税法について理解を深めることができました。大学生のうちに学ぶことで、雑多な情報に惑わされず税金に対する正しい理解ができるようになったと感じます。



公共組織のマネジメントを担う専門人材の育成を目的に、日本で初めての学科として2002年に誕生しました。現代は国や自治体等の行政体に加えて、営利企業と非営利組織が互いに協働して社会課題の解決と公共サービス供給の役割を果たす時代となりました。公共経営学科ではNPOやNGO、行政体といった非営利組織のマネジメントと営利企業である企業における社会貢

献活動についての理解を深めることを通じて、持続可能でかつウェルビーイングな社会の形成を目指します。スポーツ・医療・福祉を含め、これら公共に関係する組織のマーケティング、経営戦略、財務、組織マネジメントについて、地域、企業、大学院との連携による、より広く、より深い探究心を育成する教育プログラムを提供します。

〔 学科設置科目 〕

注）（E）は「英語で実施する授業科目」、（J/E）は年度により「日本語または英語で実施する授業科目」を示します。

学部共通		公共経営学科			
1 年 次		2 年 次	3 年 次～4 年 次		卒業後
学部必修	経営総論 経営学 会計学 公共経営学 近代経済学	〈思想・歴史・文化・生活〉 公共歴史論 公共表現行為論 現代健康論 公共思想論 生活文化論 地域公共論 住まいと仕事の地理学 〈戦略論・各種マネジメント〉 ツーリズム・マネジメント (J/E) 行政経営論 ツールズ・マネジメント (J/E) 地域活性化論 (講義) 地域活性化論 (実習)	〈理論・セクター論〉 公共経営学外国書講読 非営利組織論 社会的企業論 公共ガバナンス論 公共セクター経済論 公益事業論 中小企業論 ベンチャービジネス論 協同組合学 Introduction to Public Management (E)		公共セクター 国家公務員 地方公務員 公企業職員 教員
	企業の社会的責任論 (J/E) 簿記論 / 簿記技能 経済原論、経済史 日本経済史、経営史 ビジネス法 情報化社会論 経営心理学 (2 年次から) 経営基礎数学 社会調査法 マーケティング基礎論 (2 年次から) 基礎専門演習 基礎専門特別講義 など		〈戦略論・各種マネジメント〉 行政経営戦略論 公共交通と地域社会 NPO 経営戦略論 自治体マネジメント論 観光事業論 福祉マネジメント論 医療マネジメント論 スポーツ・マネジメント論 アウトドア組織マネジメント論 ライフスタイル・マネジメント論 国際協力 NGO 論		
基礎専門			〈マーケティング・ファイナンス・会計・評価〉 公共マーケティング論 スポーツマーケティング論 ソーシャル・ファイナンス論 サステナブル投資論 NPO 会計論 社会会計論 公会計論 国際開発論 (J/E) 自治体財政分析論 地方財政論 行政評価論 Social Impact Investment (E) Business for Social Impact (E)		進路 (二例) 非営利セクター NPO 法人 公益財団・社団法人 学校法人 協同組合 企業セクター 民間企業 スポーツビジネス 介護ビジネス
公共経営学特別講義					
学科によらず共通の科目についてはP.06を参照してください					

STUDENT VOICE

日常的に接することの
多い内容が多く
課題解決が
社会貢献につながる



公共経営学科4年
関谷 真由
愛媛県立
松山中央高等学校卒業

Q 公共経営学科の魅力は？

Answer 魅力は三つあります。一つ目は研究できる範囲が広く自身の関心分野を見つけやすい点。日常生活と関係する内容も多く、自分ごととして面白く学べます。二つ目は教授との距離が近く丁寧なアドバイスを聞ける点。Oh-o! Meiji などを使って忙しい中でも対応してくださいます。そしてゲスト講義やグループワークが多い点。現場のリアルを学ぶことが可能です。

Q 印象に残っている授業は？

Answer 「地域活性化論B」の授業です。県外実習が偶然にも地元の愛媛県でしたが、訪れた場所が自然豊かな町で、同じ県でも生活様式が大きく異なることが印象的でした。民泊経験をもとに、最終日は移住支援プランをグループで考え発表。住民の方とも意見交換し、地域活性について楽しく学ぶことができました。

Q 公共経営学科で自分が成長できたことは？

Answer 社会課題の解決に向けてグループで研究する授業が多いため、プレゼンテーション能力が鍛えられました。もともと人見知りで、準備した原稿を頼りに話すことがやっとでしたが、質疑応答まで颯爽とこなす先輩の発表姿にあこがれ、積極的にグループワークに参加した結果、自信を持って人前で話ができるようになりました。

Q 受験生にメッセージをお願いします。

Answer 公共経営学科は行政、非営利団体、地域活性化などに興味がある人にぴったりです。社会課題についても学べるので、CSR(企業の社会的責任)から民間企業を目指す人にも必要な素養が身につくと思います。学科選びに迷った際は、シラバスを見て興味を引く授業を開講している学科を選ぶのもおすすめです。

PICK UP

授業

英語でサステナブルな投資の可能性について学ぶ

Social Impact Investment

塚本 一郎
教授



この授業ではESG(環境・社会・ガバナンス)を投資判断に組み込んだ投資であるサステナブル投資のなかでも、特にインパクト投資について理論や国内外のケースを中心に英語で学びます。レベルの高い交換留学生からも大きな刺激を受けるといえます。単に流暢な英語を話せることが目的ではなく、英語を使って論理的なレポートを作成し、議論できることを目的にしています。

自分のライフスタイルを評価・管理し、ウェル・ビーイングを目指す

ライフスタイル・マネジメント論

鈴井 正敏
教授



現代の生活はたいへん便利ですが、一方でその便利さ自体が健康に対するリスクとなっていることを理解する必要があります。この授業では自分のライフスタイルの要素である運動、栄養、休養、ストレス、悪習慣(酒やたばこ)について、評価・管理する方法を学んでいきます。ウェル・ビーイングな人生を作るために自分自身のライフスタイルを見直してみよう。

STUDENT VOICE

[Social Impact Investment]

公共経営学科4年
栗原 晴生
栃木県立
栃木高等学校卒業



留学生とともに投資が及ぼす社会的影響について学ぶ

官民パートナーシップを活用した社会的課題に対する持続可能な解決策を学びたいと考えました。社会的インパクト投資の概念や理論について、事例やビジネスモデルを交えて具体的に学ぶことができるとともに、交換留学生と

レベルの高い交流ができる点は魅力です。社会的インパクト投資を活用した社会的課題の代替的解決策を考える力が養われ、英語でのレポート作成やグループワークを通して英語力も向上しました。

経営学部・教員と研究テーマ

2025年4月1日現在

経営学部は、経営・会計・公共経営の3学科に加え、学科の枠を越えて学べる共通科目の専任教員、特任教員、助教で構成されています。授業やゼミナールでは、有益なアドバイスを与えてくれる教員として、時には学生生活や将来の進路について相談に乗ってくれる人生の先輩として、皆さんの夢や目標を応援します。

経営学科	加藤 志津子	佐々木 聡	岡田 浩一
	教授 ①比較経営論（ロシア・東欧） ②ロシア東欧諸国の企業経営の比較研究 ロシア・東欧諸国の企業は独自の歴史・文化を背景としてユニークな発展を遂げつつあります。	教授 ①日本経営史 ②日本の経営発展の実証的研究 実際の日本の企業や企業家・経営者による「革新」について学び、近未来の企業像を展望する授業内容です。	教授 ①中小企業論 ②中小企業経営の理論的研究 日本企業の99%以上は中小企業です。中小企業を語らずして日本企業を語れません。一緒に研究しましょう。

郝 燕書	牛丸 元	中西 晶	松野 裕
教授 ①比較経営論（中国） ②中国と日本の経済・経営の比較研究 【中国の格言】 成功者找方法 失敗者找理由／成功者は方法を考え、失敗者は言い訳をする。	教授 ①企業論 ②イノベーションを創出する企業間関係 知的フィールドで思いっきり可能性を広げてください。	教授 ①経営心理学、ナレッジ・マネジメント論 ②高信頼性組織とレジリエンス、安全とセキュリティのマネジメント 自分とは何か、組織とは何か、社会とは何か、深く、多面的に考え、ともに語りましょう。	教授 ①経営と環境 ②環境政策の経済学的研究 時を経て、思い出されるのは学生の頃のことばかりです。大切にすごしてください。

歌代 豊	中澤 高志	一之瀬 真志	原田 将
教授 ①経営戦略論 ②経営戦略のマネジメント 企業だけでなく個人にとっても「戦略」が不可欠です。将来に向けての「自分らしい戦略」を創りましょう。	教授 ①経済地理学 ②労働の地理学、現代日本の地域構造・都市構造の変容 大学で学ぶ地理学は、暗記物の「地理」とは違います。大きな可能性をもった自由な学問です。	教授 ①生理学、トレーニングの科学、産業生理学 ②運動生理学 生体機能は運動中にもっとも活性化されます。運動という「窓」を通じて、生体の驚異の機能を探究しましょう。	教授 ①マーケティング・マネジメント ②ブランド志向組織、インターナルブランディング 失敗を恐れず、様々なことにチャレンジしてください。意志あるところに道は開けます。

山下 充	青木 克生	清水 一之	三上 真寛
教授 ①経営社会学 ②人的資源管理の歴史・国際比較、人事部門の機能と歴史 社会現象を多角的、多面的に理解し、新しい世界観を見つけてください。	教授 ①経営管理論 ②製造業におけるカイゼン活動の国際比較研究、企業間関係とイノベーション、組織学習の理論的研究 国際化する時代にあって日本企業の真の強みは何であるのか、というテーマを学生諸君とともに学んでいきます。	教授 ①比較経営論（西欧） ②インダストリー4.0（第4次産業革命） ③組織・制度の経済学 「One for All, All for One」（ひとりみんなのために、みんなはひとりのために）。一緒に勉強し、将来を勝ち取ろう！	教授 ①近代経済学、ビジネス・エコノミクス ②組織・制度の経済学 大学生生活は可能性に満ちています。様々な学問に触れて、たくさんの人に出会い、何事にも挑戦しましょう。

石塚 史樹	山崎 憲	鷲見 淳	宮田 憲一
教授 ①雇用関係論・労使関係論 ②特に独企業の人的資源管理・労使関係・企業統治にかかわる実証研究 「学問に王道なし」といいますが、分野を問わず成功を収めるためには、地道に修業を継続するしかありません。皆様も、大学進学前も後も、目指す道での継続的な修業に励ましてください。	教授 ①人事労務管理論 ②企業活動をめぐる社会・経済システム 大学で学ぶことは、「なんのために生きているのか」を探す扉を開けることにつながります。	准教授 ①国際経営論 ②Fundamentals of Management ③グローバル化と企業の国際経営 グローバルな視点と日本の興味を対比することを通して、世界、日本、そして自分を語りましょう。	准教授 ①経営史、比較経営論（アメリカ） ②企業成長の経営史、クリエイティブ産業史 社会を変える「ビジネスの力」に興味をもっている皆さん、ぜひ経営学部の扉を叩いてください！

古川 裕康	鳥居 陽介	谷口 諒	鶴田 靖人
准教授 ①グローバル・マーケティング論 ②国際市場細分化、グローバル・マーケティングの標準化-適合理化研究 挑戦する気持ちを忘れないでください。明治大学は「一歩前へ」踏み出す勇気を持つ学生で溢れています。	准教授 ①財務管理論、現代コーポレートファイナンス論 ②株式所有構造の変遷と主要株主が企業に与える影響 大学での学びを通じて、より深く考える力を身につけましょう。それは生涯の財産となります。	准教授 ①経営組織論、組織行動論 ②イノベーションプロセスにおける「失敗からの学習」、カテゴリイノベーション、組織に対する社会からの評価 色々なことに挑戦し、そのなかで多くのことを学び、自身の可能性を広げていく。そんな大学生生活にしてください。	准教授 ①統計学、経営統計学 ②ノンパラメトリック統計、応用統計学、経済統計 統計学など様々な学問を通じて得た知識を活用して、新しい価値や可能性を社会に広げていきましょう。

高澤 陽太郎	永井 裕久	新宅 純二郎	趙 形基
専任講師 ①数学・経営基礎数学 ②オペレーションズ・リサーチ 数学は積み重ねの学問です。一緒に一歩ずつ前へ進んでいきましょう。	特任教員 ①Transcultural Management ②次世代グローバルリーダーの育成 "Your vision will become clear only when you can look into your own heart. Who looks outside, dreams; who looks inside, awakes." -Carl Jung, Swiss psychologist-	特任教員 ①イノベーション・マネジメント ②日本の製造業の開発・生産戦略 大学では、そのまますぐに役に立つ知識を他人から得ることより、自分の力でどうやらたら知識を獲得したり創造したりすることができるか、その方法論を学んでください。	助教 ①経営文献研究、基礎専門演習 ②製造業企業の製品アーキテクチャ戦略 楽しい大学生活を送りながら、学問の探究を通して、自分の可能性を広げていきましょう。

大倉 学	千葉 貴律	石津 寿恵
教授 ①財務諸表論 ②制度会計の特質考究 新しいことを知るよこび、そしてそれを様々な視点から考える楽しさをともに経験しましょう。	教授 ①環境会計論 ②社会と会計 和泉～駿河台キャンパスのエコウォーキングに参加しませんか？	教授 ①財務会計総論、NPO会計論 ②営利企業、非営利企業における利益概念 好きな言葉は「努力は裏切らない」。そして経営学部のキャンパスライフは「受験生の努力を裏切らない」。

小俣 光文	長野 史麻	大槻 晴海	加藤 友佳
教授 ①監査論 ②監査制度の有効性の向上、モニタリング機能を中心とした企業ガバナンス向上 大学時代は一生つき合える友人をつくる絶好の機会です。よく学び、よく遊び、たくさん友人をつくって有意義な大学生生活を送ってください。	教授 ①原価計算論 ②サステナビリティ課題の解決に向けたマネジメント・コントロール・システム 明治大学は自分でも気づいていない可能性に気づかせてくれる。一緒にサステナビリティ課題の解決に役立ち方になりましょう。	教授 ①管理会計総論 ②原価企画に関する理論的・実証的研究 管理会計って知ってますか？未知なるものへの好奇心から、新しい道が開かれます。学び問うことを楽しもう！	准教授 ①法人税法、税法 ②変化化する社会に対応する税制 明治大学は、あらゆる可能性を広げることでできる大学です。貴重な大学生活を、ともに有意義な時間にしましょう。

森光 高大	浅野 千鶴	平屋 伸洋	森田 広大
准教授 ①原価管理論 ②主観的業績評価を伴うマネジメントコントロール、原価および収益性の管理 大学生生活は挑戦と成長の連続です。新たな挑戦を繰り返しながら知識を深めていってください。	専任講師 ①現代会計基準論 ②会計基準における基礎概念の研究 会計学について語り合しましょう！	専任講師 ①経営分析論、国際財務報告論 ②資本コストと利益マネジメントの関係 学問とは「学び問う」、「問うことを学ぶ」ことです。大学では物事を広く学び、その真理を探究しましょう。	専任講師 ①会計史、基礎専門演習 ②英米会計史研究 大学時代に取り組むべきことをしっかりと定め、それをブレずに極めてください。

鈴木 正敏	薩摩 秀登	塚本 一郎
教授 ①ライフスタイル・マネジメント論 ②健康科学、運動とNK細胞 大学は自分の可能性に挑戦するところ。色々なものに興味を抱く好奇心と、それにトライするバイタリティーを磨いてください。	教授 ①西洋史、公共歴史論 ③ヨーロッパ中近世史 視野を大きく世界へ広げてください。地球上には、様々な生き方・考え方があるということを忘れずに。	教授 ①非営利組織論、Social Impact Investment ②社会的企業、企業の社会的責任、社会的インパクト投資に関する研究 周りに流されずに、自分自身で考える力と行動する力を身につけてください。

田中 充洋	小関 隆志	畑中 基紀	菊地 端夫
教授 ①スポーツ・マネジメント論 ②ボールゲームのコーチング論 皆さんとスポーツの素晴らしさを共有できることを楽しみにしています。	教授 ①NPO経営戦略論、ソーシャル・ファイナンス論 ②ソーシャル・ファイナンスによる金融包摂 明治大学経営学部で社会へ幅広い視点を持ち、豊かな経験を積んでください。待ってます。	教授 ①公共表現行為論、日本文学 ②近代日本文学、表現論 失敗を経験せずに成功した人はいません。どんどん失敗しましょう。	教授 ①行政経営論、行政経営戦略論 ②Introduction to Public Management ③行政および公共政策の比較研究 楽しみなくして得るものなし。公共経営を学ぶ醍醐味と楽しみを一緒に味わいましょう！

枝村 祥平 教授 ①哲学、社会思想、宗教思想 ②17世紀西洋哲学史、比較思想 日本と海外両方に目を向け、遠い過去をみつつ未来を思い描いてください。大胆な発想を大切にしつつ、温故知新もやってみてください。 	森田 直美 教授 ①日本文学、生活文化論 ②色彩・染織・服飾を視座とした平安朝の文学・文化研究、有職故実研究 大学生活の中で、「自分以外の誰かのために、力を発揮したい」という気持ちを育んでください。 	阿部 卓 准教授 ①自然人類学、地域公共論 ②バリ島、雲南少数民族の人類学的研究 あたり前の世界から少しでも抜け出せれば、新しい世界が見えてきます。大学時代がその大きなチャンスです。 	早川 佐知子 准教授 ①医療マネジメント論、福祉マネジメント論 ②アメリカの病院における人事労務管理 「真理は人を自由にする」。明治大学であなたにとっての真理を見つけ、自由な精神を手に入れてください。 
吉松 梓 准教授 ①スポーツ・レジャー・レクリエーション論 ②野外教育、多様なニーズのための自然体験活動 予測困難な時代を生き抜く強さと多様性を受容するやさしさを身につけてください。 	高 巖 特任教授 ①Corporate Social Responsibility、企業の社会的責任論、外国書講読、教養演習 ②企業の社会的責任、AIビジネスと倫理、デジタルプラットフォームの倫理的課題 「企業の社会的責任」という視点で、これからのビジネスのあり方をともに学んでいきましょう。 	石渡 幹夫 特任教授 ①公共ガバナンス論、自治体マネジメント論 ②防災、気候変動適応、水資源管理に関わる政策 深刻化する災害や気候変動にどのように対処していけばいいのか、一緒に考えましょう。 	教養教育 ① 主な担当科目 ② 研究テーマ
戸村 佳代 教授 ①日本語 ②日本語教育・日本語学 自分の力を信じて、未来の可能性を広げる努力を続けてください。 	福満 正博 教授 ①中国語、外国文学（中国）、中国文化論 ②中国の戯曲小説 近年の中国経済の発展は、目を見張るものがあります。日本の貿易相手でも、アジア地域の占める割合は想像以上に大きいです。皆さん、アジアにもっと目を向けましょう。 	辻 昌宏 教授 ①英語、外国文学（英米） ②英詩、イタリア詩における音韻構造 ゆったりとした気持ちで学びましょう。 	宇野 毅 教授 ①英語、イギリス文化論 ②イギリス社会論（イギリスの社会と文化）、現代イギリス論 A little learning is a dangerous thing. [Alexander Pope] 
山下 佳江 教授 ①英語、Liberal Arts Seminar in Foreign Languages ②日韓英の比較言語研究、英語ライティングの技法研究 留学を考えている学生の方はぜひTOEFL®のクラスを履修し、早めに準備を始めましょう。 	キアナン、パトリック J. 教授 ①英語、Global Issues ②言語と異文化コミュニケーション 英語を上達させるには、それを自分のものにする必要があります。活発に学びましょう。 	竹内 拓史 教授 ①ドイツ語、ドイツ語コミュニケーション ②近現代のドイツ語圏文学 大いに遊び、大いに学び、人生を楽しみましょう。 	金子 敦子 教授 ①Strategic Business Communication, Transcultural Business Communication ②マネジメント・コミュニケーション、グローバル経営人材育成 様々なかわりを通して、豊かな心と高い見識を養ってください。 
野田 寛達 教授 ①中国語 ②中国語学（語彙、文法） 小さいものに大きなものを見出す想像力をもってください。日常の何の要哲もない事象に、多くの面白い秘密が隠れています。 	折方 のぞみ 准教授 ①フランス語、フランス文化論、外国文学（フランス） ②フランスの文学と思想 異文化を学ぶことは新しい世界観を学ぶことです。他者への好奇心は自分の可能性をぐんと広げてくれますよ！ 	畑 一成 准教授 ①ドイツ語 ②ゲーテ色彩論、環境哲学、デジタル主権 未来を創るため、科学者や芸術家、哲学者でさえも会社を経営する時代です。未来制作のため経営を学びませんか。 	真継 左和子 専任講師 ①英語 ②言語テスト、English-medium instruction (EMI)とその評価 共通語である英語で世界中の人と「直接」コミュニケーションが取れるのは非常に楽しく面白いことです。人生が広がります。 
佐々木 匠 専任講師 ①フランス語、フランス文化論、外国文学（フランス） ②20世紀フランス文学・思想、特にアルベール・カミュ研究 何かをじっくり学ぶには一人きりの時間とときに大切です。孤独を楽しめるようになりますよね。 	デュプリス、ジョン A. 特任准教授 ①Global Issues, Academic Reading, Academic Writing, Study Skills ②Learning Sciences, Writing Anxiety and Motivation Being willing to challenge oneself and make mistakes is a key trait in learning a foreign language. 	モロー、ロバート J. 特任講師 ①International Business Program, Global Issues ②Academic writing, Autonomous learning, Global issues 学術的な表現方法と国際問題を理解する力を英語で学んでいきましょう。 	

早期卒業制度

経営学部では、在学3年間で大学卒業、「学士の学位取得」を可能とする早期卒業制度を導入しています。たとえば、大学院進学を希望する学生にとっては高度な専門的教育を、国家試験に合格した学生にとっては専門職として技能を磨くことを、どちらも早期に実現します。

2010年度から計44名の学生がこの制度を利用して経営学部を卒業しました。



大学院経営学研究科・専門職大学院

大学院では海外協定校連携、国際化対応のための英語による授業など、大学院改革の先例となる様々な対応策を実現しつつあります。

経営学を究める大学院経営学研究科

■リサーチコースとマネジメントコース

明治大学大学院経営学研究科は博士前期課程と博士後期課程に分かれており、前期課程にはリサーチコースとマネジメントコースがあります。

リサーチコースは、経営学・会計学分野の特定テーマを深く探究する研究者を育成することを目的としたコースで、博士後期課程につながります。修了した者の多くが、経営・会計の専門家や研究者として幅広く活躍しています。

一方、マネジメントコースは社会人を対象としたコースで、一度社会に出た人が能力をブラッシュアップして実務の世界でさらなる活躍を目指すことを目的としています。原則として3年以上の実務経験を有する社会人を対象としています。このコースでは、社会人が研究しやすいよう開講時間を夜間および土曜日に設定しています。

■ダブルディグリー・プログラム

2010年度からマレーシア工科大学（UTM）とのダブルディグリー・プログラムを開始しました。このプログラムは、経営学研究科に在籍しながら相手方大学の修士の学位（UTM：経営管理工学）を取得することができます。

STUDENT VOICE

効率的に学びを深めながら、将来の可能性も広げられた



櫻井 彩花
神奈川県立
湘南高等学校卒業
明治大学大学院経営学研究科 博士前期課程

「学びたい」という思いとキャリア形成を両立するために、早期卒業制度を活用しました。留学やボランティア、インターンなどの活動を通じて、まだまだ学び足りないことを痛感し、専門性をより高めたうえで、実社会での経験を積みたいと考えました。制度を利用するために成績や単位取得等の条件があり、3年間で計画性が鍛えられたと感じます。これから効率的に学び、大学院で将来の可能性を広げていきたいです。

社会で活躍するスペシャリストを目指す専門職大学院

■会計専門職研究科（会計大学院）

公認会計士や税理士などの「会計プロフェッショナル」を養成することを目的としています。「会計プロフェッショナル」とは、高度の専門知識とスキルに加え、職業倫理に裏打ちされた的確な判断力を有する人材を指します。将来、「会計プロフェッショナル」を志向する方は、会計専門職研究科の扉を叩いてみませんか。

■ガバナンス研究科（公共政策大学院）

広範な知識を備えた「公共政策のプロフェッショナル」を養成します。実務家教員と研究者教員が理論と実務を架橋した実践的な教育を展開し、自治体の首長、議員、公務員、会社員、NPO職員や、それらを目指す学部卒業生が切磋琢磨しながら学びます。また、社会人の利便性を図るためにオンライン授業も実施しています。

■グローバル・ビジネス研究科（ビジネススクール）

日本企業が多くの困難に直面する現在、環境の変化に対応する能力だけではなく、自ら変化を先取りして、変革を引き起こしていく能力が求められています。グローバル・ビジネス研究科は、進取の気質と旺盛な企業家精神、そして急激な環境変化に対応しうる柔軟性を持った、ビジネスプロフェッショナルの育成を目指す MBA プログラムです。

就職・キャリア形成支援

就職キャリア支援センターと連携し、全学部生を対象とした支援で行き届かない部分について「経営学部生に向けた独自のサポート」を行っています。キャリアを取り巻く状況は急激な変化を迎えていますが、経営学部には、「納得のいくキャリア形成」ができる環境があります。

資格取得

在学中に所定の科目を履修することで、以下の資格の免許状および基礎資格を取得できます。

所定の単位数を取得すれば取得可能な資格	
教職課程	・中学校教諭一種免許状「社会」 ・高等学校教諭一種免許状「地理歴史」「公民」「商業」
学芸員養成課程	・学芸員
社会教育主事課程	・社会教育主事(任用) ・社会教育士
司書課程	・司書
司書教諭課程	・司書教諭

経営学部独自の各種検定料助成制度

経営学部独自の検定料助成制度で学生の皆さんの挑戦をサポートします。

対象検定試験

- 外国語検定 **▶詳細はP.20**
- ・TOEIC®試験 IP：年1回・1年次は年2回（全額助成）
 - ・TOEFL®試験 ITP：年2回（全額助成）、iBT：年1回
 - ・IELTS™試験 年1回
- ※TOEFL iBT試験、IELTS試験は年間1人1検定のみ助成
- ・各種外国語検定試験 春学期、秋学期 各期1回（全額助成）
（ドイツ語/フランス語/中国語/ロシア語/韓国語）
- 簿記検定
- ・日商簿記検定試験 春学期、秋学期 各期1回（予定）（1級/2級/3級）
- ビジネス系資格検定
- ※下記いずれかの受験料を年間1人1回助成（上限1万円まで）
- ・公認会計士試験
 - ・税理士試験
 - ・米国公認会計士（USCPA）試験
 - ・中小企業診断士試験
 - ・FP技能検定試験2級以上
 - ・全経簿記検定試験上級以上
- DIGIT関連資格検定
- ※下記いずれかの受験料を年間1人1回助成（上限1万円まで）
- ・ITパスポート試験
 - ・基本情報技術者試験
 - ・データサイエンティスト検定™（DS検定™）
 - ・G検定（ジェネラリスト検定）
 - ・統計検定2級以上

就職キャリア支援センター

“就職の明治”ならではのサポート力で学生一人ひとりが未来をつかむ力を育みます。

2024年度はオンラインや対面相談にて22,000件以上の個別相談を行いました。

また、就職支援行事についても社会の変化や学生のニーズを意識してスピード感を持った行事企画を心がけ、年間380回以上の支援行事を開催しました。

キャリア支援の取り組みや教職員によるサポート体制の充実が高く評価され、高校の進路指導教諭が選ぶ「就職に力を入れている大学」ランキングで15年連続1位に選出されています。
※大学通信調査（2024年10月発表）より。

経営学部独自のキャリア支援

就職キャリアセンターによるキャリア支援とは別に、学部独自で低学年向けキャリアイベントやガイダンスを実施しています。

低学年から将来を意識して学生生活を過ごすにはどうしたら良いか、「社会人基礎力」とは何かを理解し、より早い段階からキャリアを意識してもらうことが狙いです。

自己分析講座の他、人気企業の内定を獲得した経営学部先輩学生による就職活動体験談を聞く機会なども提供しています。

難関試験の合格支援

明治大学には、難関である司法試験、公認会計士試験、国家公務員採用試験等をを目指す学生のための支援機関である国家試験指導センターがあります。

経理研究所

国家試験指導センター経理研究所は1948年に設立されたわが国初の公認会計士養成機関です。公認会計士合格をサポートする「特別会計研究室」および「会計士講座」と、簿記検定の合格を目指す「簿記講座」を設けています。

講座名	合格目標
学内講座 簿記講座（専門学校提携）	
・3級クラス	日商簿記3級
・2級クラス	日商簿記2級
学内講座 会計士講座※（専門学校提携）	
・計算基礎クラス	日商簿記1級、全経簿記上級 公認会計士試験（会計学）
学外講座 会計士講座※（提携専門学校にダブルスクール）	
・会計士本科クラス	公認会計士試験（全科目）

※特別会計研究室への入室が条件になります。入室条件は原則日商簿記2級以上合格。

行政研究所

最難関の国家総合職をはじめ国家一般職、地方上級等をを目指す学生を主な対象として、1年次から4年次まで一貫したカリキュラムと、モチベーションを高める専門的指導が行われています。

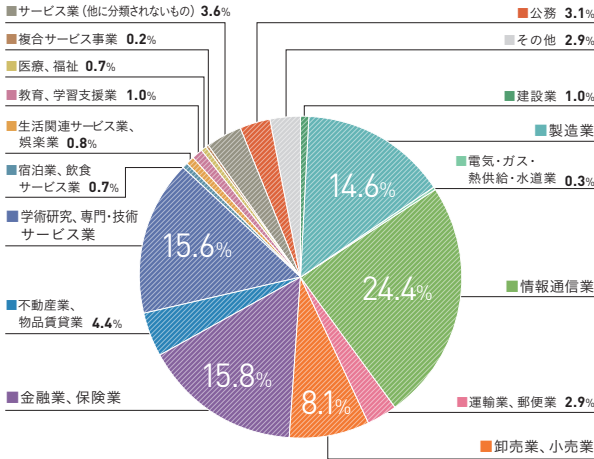
法制研究所

裁判官・検察官・弁護士（法曹三者といえます）を志す学生に対して、基礎から専門科目までの学習を本学OBOG弁護士による指導を中心にサポートしています。

就職実績

社会で必要とされる実践力を身につけた経営学部生はその能力が高く評価され、製造業、金融、情報通信、監査法人、公務員など幅広い分野で就職実績を残しています。

業種別 就職状況（2023年度卒業生）



主な就職先企業・団体名（2021～2023年度）

TIS（株）	有限責任あずさ監査法人
みずほフィナンシャルグループ	有限責任監査法人トーマツ
東京特別区（株）キーエンス	（株）NTT データグループ
三井住友信託銀行（株）	（株）三菱UFJ銀行
明治安田生命保険（相）	アクセンチュア（株）
楽天グループ（株）	アマゾンジャパン（同）
東京海上日動火災保険（株）	野村證券（株）
EY新日本有限責任監査法人	警視庁
富士通（株）	日本アイ・ビー・エム（株）
（株）NTTドコモ	（株）野村総合研究所
（株）オービック	パナソニック（株）
（株）ニトリ	三井住友海上火災保険（株）
国家公務員（一般職）	全日本空輸（株）
日本電気（株）	アサヒ飲料（株）

※グラフ中のパーセンテージは四捨五入されているため、合計しても100%にならない場合があります。

INTERVIEW 資格取得体験記

USCPA（米国公認会計士）



USCPA（米国公認会計士）資格取得
佐藤 翼さん
（監査法人 保険アシュアランス部勤務）
経営学科2020年卒業
神奈川県立麻溝台高等学校卒業

培った語学力をキャリアに繋げることができた

入学した当初は、英語学習が好きだったこともあり継続してスキルアップに取り組んでいたものの、このまま漫然と英語力を高めることが自分の将来のキャリアに具体的にどうつながるのかと徐々に疑問を持ち始め、在学中にUSCPA（米国公認会計士）試験への挑戦を決意しました。

語学力だけではなく会計・監査という専門性を獲得でき、その能力を客観的に証明できるUSCPAという資格は、それまで培ってきた語学力を着実にキャリア形成に活かすきっかけになったと感じています。

また、USCPAの学習を通じて、「英語自体を学習

する」フェーズから、「英語“で”専門知識を学ぶ」フェーズへと、英語学習の次元を一つ高めることができました。資格勉強に際して特に役立ったと感じるのは、ビジネス用語を英語で学ぶ授業や、学術的な内容の英文読解にトライするTOEFL®の授業です。このような授業で基本となる英語力を高められていたおかげで、USCPAの試験勉強においては英語力の面での障壁を感じることなく、専門知識の内容の理解に注力することができたと感じています。就職活動にはさまざまな選択肢がありますが、自分が魅力を感じた道を見つけたら強い意志で決断し、計画的に挑戦してみてください。

公認会計士



公認会計士 資格取得
斎藤 早貴さん
（監査法人 銀行・証券アシュアランス部勤務）
会計学科2017年卒業
宮城県宮城第一高等学校卒業

公認会計士として、クライアントや社会の役に立ちたい

企業の財務諸表を監査し、その正確性を保証することで経済全体の信頼性を高める役割を担う公認会計士。その業務を通じて社会全体に貢献できることに魅力を感じています。また、クライアントに寄り添い、ともに課題を解決することで自分自身も成長できる点は、この仕事の特徴です。在学中は、監査論や簿記論、会計学など、公認会計士の資格に直結する授業を受けましたが、単なる知識の習得にとどまらず、理論的な解説や、「なぜこのような会計処理になるのか」といった、結論に至る背景までを学べたことは、今でも役に立っています。

就職活動中に心掛けていたのは、初心を忘れないこと。周りの友人たちが合格をしていく中、資格勉強を続けるか一般就職を目指すか迷ったこともありましたが、そのときは公認会計士を目指す理由を思い返すことで、決意を新たにしました。資格取得後は、自分がやりたいこと、なりたいた姿をじっくりと考えて就職先を選択。監査法人で、クライアントのために何ができるのかを模索しながら、信頼を構築できるよう努めています。日々目の前の仕事に全力で取り組み、クライアントや社会に、より貢献できる人になることが目標です。

経営学部卒業生からのメッセージ

大学を卒業したらどんなキャリアを築くか。明治大学経営学部で学び、現在、社会で輝く卒業生からのメッセージを参考に自分の未来図を描いてみましょう。



課題解決のために 研究しつくした経験が 今の自信につながっている

サントリープロダクツ株式会社
人事総務部
寒川 遥香さん

2024年卒業
青森県立
三本木高等学校卒業



ゼミ対抗プレゼンテーション大会にて。本人、中央。

サントリープロダクツというサントリーグループ内の清涼飲料水の製造を担う会社に勤務しています。私は、その中の人事総務部で経験者採用を担当。転職という、人生の大きな転機にかかわることができる部署で、やりがいを感じながら仕事をしています。

ゼミで「やりぬいた人にしか見えない景色がある」と教授からいただいた言葉が今でも心に残っています。日本の社会課題を探し、マーケティングの手法を利用してどのように課題を解決できるか、仲間と切磋琢磨しながら研究した2年間のゼミ活動。右も左も分からない中で研究手法を探ったり、統計学を一から勉強したり、様々な苦労がありましたが、仲間と解決していく中で、達成感を感じるとともに経営学に関する知識を身につけることができました。今振り返ると、「workhard,playhard(たくさん学び、たくさん遊ぶ)」ができた貴重な時間でした。課題に直面しても、自信を持って「最後までやり抜く」姿勢が大切。課題解決の過程や失敗からも知見を得て、今も成長続けています。

大学生活は能動的に活動することが大切です。経営学部には留学制度やゼミなど、自分の成長につながるフィールドがいくつもあります。目標に向かって挑戦していきましょう。



経理業務も多岐に及ぶ時代 会計、IT、英語の知識を活かし 変化の激しい社会を生きる

武田薬品工業株式会社
渋谷 友喜さん

2013年卒業
千葉県
私立暁星国際学園高等学校卒業
米国公認会計士(ワシントン州)2023年ライセンス取得



ゼミの活動にて。本人、中央奥。

私は医薬品メーカーの経理部門で固定資産に関する業務を担当しています。「経理」と聞くと、パソコンに向かって一人で作業するイメージを抱かれるかもしれませんが、私の仕事はそれとは少し異なります。たとえば、システムに異常が発生した場合、国内には対応できるチームがないため、インドやポーランドといった海外の担当者と英語で連携し、協力して問題解決に取り組んでいます。また、海外のインターンシップ生と協力して業務自動化のプログラムを開発したり、生成AIを活用した効率化の提案を国内外のスタッフとともに推進したりと、様々な国のメンバーと連携しながら日々の業務に取り組んでいます。

生成AIをはじめとする技術が進歩する中で、人間の仕事内容は大きく変わりつつあります。今や、会計の知識だけでは不十分な時代が訪れようとしています。私自身、経理のプロフェッショナルとして、会計、システム、英語の3つのスキルが今後さらに重要になると考え、仕事と並行してUSCPA資格を取得しました。経営学部が提供する「CAP」「DIGIT」「GREAT」といったカリキュラムは、これらのスキルを強化するのに最適であり、学生時代に戻れるならば再度学びたい内容ばかりです。ぜひこの恵まれたカリキュラムを活用していただければと思います。



大好きな久米島で地域おこし 周囲の人の温かさを原動力に 課題解決に取り組む

久米島町
企画財政課 地域おこし協力隊
新井 健太さん

2012年卒業
東京都
私立明治大学付属八王子高等学校卒業



ゼミ合宿にて。本人一番左。

幼いころから沖縄の離島で暮らしたいという夢があり、地域おこし協力隊として久米島に移住しました。久米島町の移住定住相談窓口勤務し、移住に関する相談対応や島内の生活に関する情報発信をしています。人口減少に歯止めをかけるため、県内外で開催されるイベントにも参加。認知度向上や関係人口・交流人口の拡大を目指しています。

学生時代で特に印象に残っていることは、ゼミでの活動です。運動や栄養などの様々な視点から、「健康」について研究しました。現代社会には快適さを提供するためのモノやサービスが充実していますが、ストレス社会と呼ばれることもあり、生活と仕事のバランスが重要です。久米島は都会に比べると不便ですが、人情深い人が多く、人々とのつながりが私の健康の源となっています。

公共経営学科では「経営」について多様な観点から学べます。ライフスタイルに関する研究を重ねた結果、心身の健康にこれまで以上に重要性を見出すようになりました。人生において選択が必要な場面ではワクワクする方向へ舵を切ることが多くなったように思います。皆さんも興味がわいたモノ・コトに対して積極的にかかわり、前へ踏み出していきましょう。

懸賞論文制度

奨学制度として懸賞論文制度を設け、学生の教育・研究の振興を図っています。審査委員会は2段階の厳密な審査を行っており、個人論文、共同論文に対し、優秀論文ならびに佳作論文には賞金が授与されます。毎年多くの学生が、個人単位、ゼミ内のグループ単位で応募し競い合っています。入賞した作品は学生経営論集として出版され高い評価を得ており、懸賞論文に応募することは学生生活のひとつの目標となっています。

受賞者メッセージ



2023年度 優秀論文
「業種別における需要変動の
予測可能性とコスト構造の関係」
個人論文

岡田 昂樹
2024年卒業
埼玉県立越谷北高等学校卒業

優秀賞をいただくことができ、大変嬉しく思います。研究に協力してくださった平屋先生、同期に改めて感謝申し上げます。先行研究を読みながら研究テーマが二転三転することや進めていく中でたくさんの壁にぶつかったりと、決して平坦な道のりではありませんでした。そのたびに、様々な方からアドバイスをいただきながら、結論を導くことができました。優秀賞を受賞できたのは、合宿やゼミプレといったゼミでの活動やそのたびに先生方からご指導ご鞭撻を賜った結果です。半年以上の研究活動を通じてやり遂げたこの研究とその過程の中で得た経験や達成感は、学生生活において何ものにも代えがたい経験となりました。

奨学金制度

明治大学には目的に応じて
様々な奨学金が用意されています。

奨学金の主な種類は以下のとおりです。

- ①経済支援型…経済的に修学が困難な人に交付される奨学金
- ②学業奨励型…学業が特に優秀で、将来社会に貢献し得る人材を育成するための奨学金
- ③家計急変型…生計維持者の死亡・事故・失職等による家計急変者を支援する奨学金

明治大学では、大学独自の奨学金のほか、国・日本学生支援機構・地方公共団体・民間団体等が実施する奨学金が利用可能です。それぞれ応募資格として家計状況、学力、人物などの選考基準が定められています。これらの中には返還の必要がない【給費型】と卒業後に返還の必要がある【貸費型(有利子・無利子)】がありますが、明治大学独自の奨学金はすべて【給費型】を採用しています。

※詳細はASSISTおよび本学ホームページを確認してください。

2025年度 奨学金情報誌	
ASSIST (学部対象)	
日本学生支援機構奨学金 高等学校の活用対象	
日本学生支援機構奨学金 奨学金の種類 奨学金の金額	奨学金の活用 奨学金の申請 奨学金の返済
奨学金制度 奨学金の種類・奨学金の金額	
奨学金の種類 奨学金の金額	奨学金の活用 奨学金の申請 奨学金の返済
日本学生支援機構奨学金 申請日程・方法	
奨学金の種類 奨学金の金額	奨学金の活用 奨学金の申請 奨学金の返済
学内給費奨学金 申請日程・方法	
奨学金の種類 奨学金の金額	奨学金の活用 奨学金の申請 奨学金の返済

入試情報(2026年度)

※詳細は必ず入試要項で確認してください。

学科所属は2年次からです。出願時に学科選択の必要はありません。

学部別入学試験(大学入学共通テスト併用型3科目方式・大学入学共通テスト併用型英語4技能試験活用方式)

経営学部では、2026年度入学試験(2026年度4月入学)より、学部別入学試験において、方式および試験科目が変更となります。

2026年度の学部別入学試験における方式

方式	募集人数
学部別入学試験(大学入学共通テスト併用型3科目方式)	342名
学部別入学試験(大学入学共通テスト併用型英語4技能試験活用方式)	40名

※学部別入学試験の可否判定にあたっては、本学部が指定する「大学入学共通テスト」科目の受験が必要です。

※上記の方式は、併願可能です。

学科	経営学科、会計学科、公共経営学科	入学試験日	2月10日(火)
募集人数	大学入学共通テスト併用型3科目方式・342名／ 大学入学共通テスト併用型英語4技能試験活用方式・40名	合格発表日	2月17日(火)9:30
出願期間	1月6日(火)～1月22日(木)※締切日消印有効	手続締切日	3月5日(木)※締切日消印有効

大学入学共通テスト併用型 3科目方式	教科	科目	配点
	国語 ^{※1}	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文の独立問題は出題しない	100点
	外国語 ^{※1}	「英語」(英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ)、「ドイツ語」、「フランス語」	150点
	●大学入学共通テスト利用		
	地理歴史、 公民、数学、 情報 ^{※2}	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『情報Ⅰ』	100点
	合計(3科目)		350点

大学入学共通テスト併用型 英語4技能試験活用方式	教科	科目	配点
	国語 ^{※1}	「国語」(現代の国語、言語文化)※漢文の独立問題は出題しない	100点
	外国語	(英語4技能資格・検定試験のスコアを利用)	30点
	●大学入学共通テスト利用		
	地理歴史、 公民、数学、 情報 ^{※2}	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『情報Ⅰ』	100点
合計(3科目)			230点

※1…本学における試験を実施します。

※2…右記の科目から1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を可否判定に利用します。

「地理歴史」「公民」については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず可否判定対象とします。

全学部統一入学試験

学科	経営学科、会計学科、公共経営学科	入学試験日	2月5日(木)
募集人数	3科目方式・27名 / 英語4技能3科目方式・3名	合格発表日	2月17日(火)9:30
出願期間	1月6日(火)～1月16日(金)※締切日消印有効	手続締切日	3月5日(木)※締切日消印有効

試験科目・ 配点	3 科目 方式	教科	時限	科目	配点
		外国語	1時限	「英語」（英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ）、「ドイツ語」、「フランス語」から1科目選択 配点100点を150点に換算します。	150点
		国語	2時限	「国語」（現代の国語、言語文化）※漢文を除く	100点
		●下記の3教科5科目のうちから1科目を選択し、受験します。2科目を受験した場合には、高得点の科目を合否判定に利用します。			
		地理歴史、公民	3時限	「歴史総合、世界史探究」、「歴史総合、日本史探究」、「地理総合、地理探究」、「公共、政治・経済」	100点
		数学	4時限	「数学」（数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」）	
		合計（3科目）			

試験科目・ 配点	3 英 語 目 4 技 能	教科	時限	科目	配点
		(外国語)	1時限	●英語4技能資格・検定試験のスコアが所定の基準を満たす者のみ出願可能。1時限目外国語の試験は免除とし、スコアに応じた得点を「英語」の得点として付与する。なお、1時限目の外国語「英語」を受験した場合でもその得点は利用しない。	150点
		国語	2時限	「国語」（現代の国語、言語文化）※漢文を除く	100点
		●下記の3教科5科目のうちから1科目を選択し、受験します。2科目を受験した場合には、高得点の科目を合否判定に利用します。			
		地理歴史、公民	3時限	「歴史総合、世界史探究」、「歴史総合、日本史探究」、「地理総合、地理探究」、「公共、政治・経済」 「数学」（数学Ⅰ～Ⅱ、数学A、数学B「数列」、数学C「ベクトル」）	100点
		数学	4時限		
		合計（3科目）			

※3科目方式と英語4技能3科目方式は併願可能です。

大学入学共通テスト利用入学試験(3科目方式・4科目方式)

学科	経営学科、会計学科、公共経営学科	入学試験日	1月17日(土)／1月18日(日) ※「令和8年度大学入学共通テスト受験案内」を参照してください。
募集人数	3科目方式・25名／4科目方式・25名	合格発表日	2月17日(火)9:30
出願期間	1月6日(火)～1月16日(金)※締切日消印有効	手続締切日	3月5日(木)※締切日消印有効

試験科目・ 配点	3科目方式	教科	科目	配点
		国語	『国語』	200点
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』から1科目 大学入学共通テストの配点200点を250点に換算します。『英語』はリーディング100点、リスニング100点の合計点200点を250点に換算します。	250点
		●下記の科目のうちから1科目を選択。 2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を可否判定に利用します。『地理歴史』『公民』および『理科』については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず可否判定対象とします。		
		地理歴史	『歴史総合、世界史探究』、『歴史総合、日本史探究』、『地理総合、地理探究』、『地理総合／歴史総合／公共』 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。	150点
		公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。	
		数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。	
		理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。	
		情報	『情報Ⅰ』 大学入学共通テストの配点100点を150点に換算します。	
		合計(3科目)		600点

試験科目・ 配点	4科目方式	教科	科目	配点
		国語	『国語』	200点
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』から1科目 大学入学共通テストの配点200点を250点に換算します。『英語』はリーディング100点、リスニング100点の合計点200点を250点に換算します。	250点
		●下記の科目のうちから2科目を選択。 3科目以上を受験した場合には、高得点の2科目の成績を可否判定に利用します。同一教科内について2科目の使用も可。『地理歴史』『公民』および『理科』については、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず可否判定対象とします。		
		地理歴史	『歴史総合、世界史探究』、『歴史総合、日本史探究』、『地理総合、地理探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	200点 (100点×2)
		公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』	
		数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	
		理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	
		情報	『情報Ⅰ』	
		合計(4科目)		650点

特別入学試験

〔外国人留学生入学試験〕

募集人数	明治大学における試験を実施する入学試験（Ⅰ型）				要項完成時期
40名 （Ⅰ型）	出願期間 2025年8月27日（水）～9月3日（水）	試験科目		入学試験日	5月下旬（予定）
		第一次選考	書類選考	第二次選考 2025年12月6日（土） （オンライン）	
		第二次選考	口頭試問		

※出願資格等の詳細については、要項をご確認ください。

明治大学は、一般選抜(学部別入試・全学部統一入試・大学入学共通テスト利用入試)においてすべてWeb出願です。パソコン・スマートフォン・タブレットから出願できます。

過去の入試結果は、大学ガイドブックを参照してください。

明治大学経営学部がわかる 9つのポイント

私学初の経営学部

1953年創設



明日に役立つ
人間をつくる

学科・科目

2年生から学科別



3学科

国際・留学

学部独自の制度充実



レベル・ニーズ
に応じた留学

GREAT

グローバル経営人材育成トラック



4年間英語で学ぶ
経営学

CAP

高度職業会計人養成トラック



4年間で
会計のプロを目指す

DIGIT

デジタル経営人材開発トラック



4年間実践科目で
イノベーション創出を目指す

アクティブラーニング

社会現場を体感



座学+フィールド
で学ぶ

ゼミナール

教員との距離が近い



1年生から

キャリア教育・進路

多様なフィールドへ



1年生から
社会課題を意識

詳しくはこちらを**CHECK!**

受験生のための学部選択ガイド Step into Meiji University

<https://www.meiji.ac.jp/stepinto/keiei>



@meijiexam

一人ひとりにぴったりの入試やイベントの情報を
お知らせ。LINEだけのイベントもやってるよ!!



登録してくれた?

● 明治大学入試総合サイト

<https://www.meiji.ac.jp/exam/>

